

令和3年度

# 事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

社会福祉法人嘉麻社会福祉協議会

# 目 次

## □法人経営部門

1. <u>総務係</u> に関する事業報告 .....	1
------------------------------	---

## □地域福祉・在宅福祉推進部門

2. <u>地域生活支援係</u> に関する事業報告 .....	8
----------------------------------	---

### 3. 総合相談・地域づくり推進係

①かま生活支援・相談センター（コミュニティワークセンター）に関する事業報告 .....	12
---	----

②かま権利擁護センターに関する事業報告 .....	18
---------------------------	----

③かま自立相談支援センターに関する事業報告 .....	20
-----------------------------	----

④かまひきこもり相談支援センターに関する事業報告 .....	27
--------------------------------	----

⑤かまボランティア・市民活動センターに関する事業報告 .....	29
----------------------------------	----

# 令和3年度 事業報告書

令和3年度における各事業・活動について、その実績を部門の係及びセンターごとに報告いたします。

## 法人経営部門【総務係】に関する事業報告

### ■法人経営事業

#### 1. 会議

##### (1) 会長・副会長会議の開催

回	開催年月日	出席者数	内 容
92	令和3年5月17日(月)	3人	<p>&lt;協議内容&gt;</p> <p>①次期理事候補者の定時評議員会への推薦について                      ②次期監事候補者の定時評議員会への推薦について                      ③次期評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について                      ④次期評議員選任・解任委員会委員の選任について                      ⑤令和2年度事業報告及び収支決算について                      ⑥令和3年度第一次補正予算について                      ⑦第5回定時評議員会の開催について</p> <p>&lt;報告内容&gt;</p> <p>①定款第21条第4項に係る理事会報告事項について ②高額寄付について                      ③登記手続きの完了について</p> <p>&lt;その他&gt;</p> <p>①自宅待機の新型コロナウイルス陽性者への買物等の支援事業について                      ②嘱託職員の採用について</p>
93	令和3年11月29日(月)	3人	<p>&lt;協議内容&gt;</p> <p>①評議員補欠選任候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について                      ②令和3年度第二次補正予算について                      ③地域福祉推進委員会設置規程の一部改正について                      ④第49回臨時評議員会の開催について</p> <p>&lt;報告内容&gt;</p> <p>①定款第21条第4項に係る理事会報告事項について ②高額寄付について                      ③地域福祉活動職員の採用について</p>
94	令和4年3月4日(金)	3人	<p>&lt;協議内容&gt;</p> <p>①規程等の一部改正について                      ②役員等賠償責任保険契約について                      ③評議員補欠選任候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について                      ④令和3年度第三次補正予算について                      ⑤令和4年度事業計画及び収支予算について                      ⑥第50回臨時評議員会について</p> <p>&lt;報告内容&gt;</p> <p>①高額寄付について ②ホームページのリニューアルについて                      ③令和4年度職員体制について</p> <p>&lt;その他&gt;</p> <p>①社会福祉法人指導監査の実施について ②酒気帯び有無の確認について</p>

##### (2) 理事会の開催

回	開催年月日・時間	出席者数	内 容
74	令和3年6月4日(金) 10時～11時07分	理事10人 監事2人	議案第236号 次期理事候補者の定時評議員会への推薦について 議案第237号 次期監事候補者の定時評議員会への推薦について 議案第238号 次期評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について 議案第239号 次期評議員選任・解任委員会委員の選任について 議案第240号 令和2年度事業報告及び収支決算について 監査報告 議案第241号 令和3年度第一次補正予算について 議案第242号 第5回定時評議員会の開催について 報告第74号 定款第21条第4項に係る理事会報告事項について 報告第75号 高額寄付について 報告第76号 登記手続きの完了について
75	令和3年6月24日(木) 13時30分～13時57分	理事10人 監事1人	議案第243号 会長及び副会長の選定について 議案第244号 各委員会の委員選出について
76	令和3年12月9日(木) 10時～10時44分	理事10人 監事2人	議案第245号 評議員補欠選任候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について 議案第246号 令和3年度第二次補正予算について 議案第247号 地域福祉推進委員会設置規程の一部改正について 議案第248号 第49回臨時評議員会の開催について 報告第77号 定款第21条第4項に係る理事会報告事項について 報告第78号 高額寄付について 報告第79号 地域福祉活動職員の採用について
77	令和4年3月15日(火) 9時57分～11時22分	理事11人 監事2人	議案第249号 規程等の一部改正について 議案第250号 役員等賠償責任保険契約について 議案第251号 評議員補欠選任候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について 議案第252号 令和3年度第三次補正予算について 議案第253号 令和4年度事業計画及び収支予算について 議案第254号 第50回臨時評議員会の開催について 議案第255号 委員会委員の選出について 報告第80号 高額寄付について 報告第81号 ホームページのリニューアルについて 報告第82号 令和4年度職員体制について

(3) 定時評議員会の開催

回	開催年月日・時間	出席者数	内 容
5	令和3年6月24日(木) 10時00分～11時12分	評議員16人 正副会長3人 監事1人	議案第104号 次期理事の選任について 議案第105号 次期監事の選任について 議案第106号 令和2年度事業報告及び収支決算について 監査報告 議案第107号 令和3年度第一次補正予算について 報告第25号 登記手続きの完了について

(4) 臨時評議員会の開催

回	開催年月日・時間	出席者数	内 容
49	令和3年12月17日(金) 10時00分～10時31分	評議員19人 正副会長3人	議案第108号 令和3年度第二次補正予算について 報告第26号 地域福祉活動職員の採用について
50	令和4年3月25日(金) 10時00分11時26分	評議員20人 正副会長3人	議案第109号 令和3年度第三次補正予算について 議案第110号 令和4年度事業計画及び収支予算について 報告第27号 高額寄付について 報告第28号 ホームページのリニューアルについて 報告第29号 令和4年度職員体制について

(5) 評議員・選任解任委員会の開催

回	開催年月日・時間	出席者数	内 容
8	令和3年6月9日(水) 9時53分～11時21分	5人	次期評議員候補者についての審議及び議決
9	令和4年2月8日(火) 9時55分～10時26分	5人	補欠評議員候補者についての審議及び議決
10	令和4年3月17日(木) 9時58分～10時18分	5人	補欠評議員候補者についての審議及び議決

(6) 苦情解決第三者委員会の開催

回	開催年月日・時間	出席者数	内 容
12	令和3年4月28日(水) 10時00分～10時48分	2人	①苦情の受け付け体制について ②令和2年度の苦情受付報告について ③令和3年度の事業活動等について

2. 監 査

(1) 内部監査の実施

実施年月日・時間	監査実施者	内 容
令和3年5月27日(木) 10時00分～11時45分	深町俊一 中野勝己	令和2年度事業及び収支決算監査 ・社会福祉法人会計基準に基づく計算書類の様式等に関するチェック ・会計帳票等のチェック ・預貯金通帳、定期証書及び残高証明書・財産目録との照会

(2) 外部監査の実施

実施年月日	監査実施者	内 容
令和3年4月28日(水)	川邊拓也税理士事務所	令和2年度3月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和3年5月18日(火)	川邊拓也税理士事務所	令和2年度決算監査 ・計算書類の調査指導並びに計算書類外の事項の調査指導
令和3年6月2日(水)	川邊拓也税理士事務所	令和3年度4月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和3年6月29日(火)	川邊拓也税理士事務所	令和3年度5月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和3年7月28日(水)	川邊拓也税理士事務所	令和3年度6月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和3年8月27日(金)	川邊拓也税理士事務所	令和3年度7月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和3年9月28日(火)	川邊拓也税理士事務所	令和3年度8月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和3年10月28日(木)	川邊拓也税理士事務所	令和3年度9月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合

令和3年11月29日(月)	川邊拓也税理士事務所	令和3年度10月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和3年12月27日(月)	川邊拓也税理士事務所	令和3年度11月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と帳票との突合
令和4年1月27日(木)	川邊拓也税理士事務所	令和3年度12月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と伝票との突合
令和4年2月25日(金)	川邊拓也税理士事務所	令和4年度1月次監査 ・会計伝票と証憑書類との突合 ・計算書類間(貸借・資金・事業3表)の整合性の確認 ・経理規程に準拠し処理が行われているか ・貸金台帳と会計伝票との突合 ・預貯金通帳と伝票との突合

※令和4年3月の令和4年2月次監査は、令和4年3月30日に行う予定であったが、令和4年3月28日に川邊拓也税理士が逝去されたため中止となった。

### 3. 任期満了に伴う役員・評議員等の改選

#### (1) 理事・監事の改選

市内の関係団体等からの推薦を得て、理事・監事の改選を行った。任期は令和3年6月24日から令和4年会計年度にかかる定時評議員会の終結の時まで(令和5年6月開催予定)

役職名	氏名	選出区分	所属団体
会長	坂田 勲	学識経験者	—
副会長	野見山 利三	地域福祉推進委員会	稲築地域福祉推進委員会
副会長	坂口 清春	学識経験者	—
理事	坂田 雅量	地域福祉推進委員会	碓井地域福祉推進委員会
〃	村上 曙生	地域福祉推進委員会	山田地域福祉推進委員会
〃	大里 厚子	地域福祉推進委員会	嘉穂地域福祉推進委員会
〃	末吉 進一	住民組織の代表的性格団体・組織	嘉麻市行政区長連合会
〃	古賀 稲子	当事者団体の代表的性格団体・組織	山田障がい者を持つ家族の会 トロッコの会
〃	伊藤 壽	ボランティア活動を行う代表者、団体・組織	わくわくマジック山田
〃	野見山 桂子	社会福祉施設等の社会福祉事業を営む団体の代表者	かま福祉ネットワーク委員会
〃	大森 成順	民生委員・児童委員	嘉麻市民生委員児童委員協議会
〃	柴田 きよみ	行政職員	嘉麻市福祉事務所 子育て支援課
監事	深町 俊一	社会福祉事業について学識経験を有する者	—
〃	中野 勝己	財務諸表等を監査しうる者	—

#### (2) 評議員の改選

市内の関係団体等からの推薦を得て、評議員の改選を行った。任期は令和3年6月24日から令和6年会計年度にかかる定時評議員会の終結の時まで(令和7年6月開催予定)

氏名	選出区分	所属団体	備考
麻生 絹代	地域福祉推進委員会	稲築地域福祉推進委員会	令和4年2月28日まで
西野 眞奈美	地域福祉推進委員会	稲築地域福祉推進委員会	
中島 政美	地域福祉推進委員会	碓井地域福祉推進委員会	
坂口 嘉勝	地域福祉推進委員会	碓井地域福祉推進委員会	令和3年10月12日まで
島田 睦男	地域福祉推進委員会	山田地域福祉推進委員会	
臼井 隆輝	地域福祉推進委員会	山田地域福祉推進委員会	令和4年2月28日まで
田中 正博	地域福祉推進委員会	嘉穂地域福祉推進委員会	令和4年2月28日まで
西森 章雄	地域福祉推進委員会	嘉穂地域福祉推進委員会	
栗野 良一	老人クラブ	嘉麻市老人クラブ連合会	
横山 利恵子	障害者団体	嘉麻市手をつなぐ育成会	
縄田 好子	女性団体	かま男女共同参画推進ネットワーク	
大里 泰	その他の当事者団体	嘉麻市認知症家族の会 ころ音の会	
岩橋 岩雄	住民代表	嘉麻市行政区長連合会	
大里 華代	社会福祉に関する活動を行う団体	福岡県いやしのケア赤十字奉仕団なごみ	
田中 マスミ	社会福祉に関する活動を行う団体	オレンジサロン「ニコニコ会」	
宮崎 裕	民生委員・児童委員	嘉麻市民生委員・児童委員協議会	
原口 真幸	社会福祉施設	母子生活支援施設かほの森	
竹島 信江	福祉サービス事業者	介護老人福祉施設筑豊園	
古賀 修治	小中学校教職員	嘉麻市小中学校校長会	
大串 秀博	高等学校教職員	福岡県立稲築志耕館高等学校	
永島 祐樹	社会福祉行政関係者	嘉麻市福祉事務所 子育て支援課	
西坂 勝正	地域福祉推進に必要な主要な団体	嘉麻市社会福祉協議会福祉推進委員会	
森田 洋子	学識経験者	—	

(3) 欠員補充に伴う評議員の選任

後任評議員名	選出区分	所属団体	任期
田中 一幸	地域福祉推進委員会	碓井地域福祉推進委員会	令和4年2月8日～令和6年会計年度にかかる定時評議員会の終結の時まで(令和7年6月開催予定)
辻田 廣光	地域福祉推進委員会	稲葉地域福祉推進委員会	令和4年3月17日～令和6年会計年度にかかる定時評議員会の終結の時まで(令和7年6月開催予定)
赤間 秀人	地域福祉推進委員会	山田地域福祉推進委員会	令和4年3月17日～令和6年会計年度にかかる定時評議員会の終結の時まで(令和7年6月開催予定)
森田 信代	地域福祉推進委員会	嘉穂地域福祉推進委員会	令和4年3月17日～令和6年会計年度にかかる定時評議員会の終結の時まで(令和7年6月開催予定)

4. 規程等の改正

(1) 規程の一部改正

規程名	改正年月日	施行年月日
地域福祉推進委員会設置規程	令和3年12月9日	令和4年3月1日
職員就業規則	令和4年3月15日	令和4年4月1日
臨時的任用職員就業規則	令和4年3月15日	令和4年4月1日
育児・休業等に関する規則	令和4年3月15日	令和4年4月1日 令和4年10月1日
職員給与規程	令和4年3月15日	令和3年4月1日
退職手当規程	令和4年3月15日	令和4年4月1日
かまボランティア・市民活動センター運営委員会規程	令和4年3月15日	令和4年7月1日

(2) 実施要綱の一部改正

実施要綱名	制定年月日	施行年月日
住民支えあい活動推進実施要綱	令和3年6月3日	令和3年4月1日に遡って適用する
各種団体助成要綱	令和3年6月30日	令和元年5月1日に遡って適用する
事業共催及び後援に関する取扱要綱	令和3年6月30日	令和元年5月1日に遡って適用する
地域支えあい事業実施要綱	令和3年6月30日	令和2年4月1日に遡って適用する
困ったときはおいでなっせ「寄ってこハウス」運営要綱	令和3年6月30日	令和2年4月1日に遡って適用する
空き家管理住まいるサービス実施要綱	令和3年6月30日	令和2年4月1日に遡って適用する
生活再建に向けた諸費立替事業実施要綱	令和3年6月30日	令和元年5月1日に遡って適用する
地域福祉権利擁護事業等貸金庫管理規則	令和3年6月30日	令和2年4月1日に遡って適用する
遺言公正証書作成支援事業実施要綱	令和3年6月30日	令和元年5月1日に遡って適用する
福祉機器貸出事業実施要綱	令和3年6月30日	令和2年4月1日に遡って適用する
紙おむつ宅配事業実施要綱	令和3年6月30日	令和2年4月1日に遡って適用する
子育てリユースセンター運営要綱	令和3年6月30日	令和2年4月1日に遡って適用する
配食サービス事業実施要綱	令和3年6月30日	令和3年6月1日に遡って適用する
チャイルドシート貸出事業実施要綱	令和3年6月30日	令和2年4月1日に遡って適用する

5. その他の事業

(1) 損害賠償責任保険への加入

本会役員等が損害賠償請求の当事者となるリスクに備えて、社協の保険の損害賠償責任保険に加入した。保険適用期間：令和4年4月1日16時まで

(2) 健康診断の実施

令和3年9月～10月 職員に健康診断を受けてもらった。(受診職員18名)

(3) インフルエンザ予防接種の助成の実施

令和3年11月～令和4年1月 ワクチン不足の影響で事業所単位での接種予約ができなかったため、個人で予防接種を受けた職員に接種代金の助成を行った。(接種職員3名)

(4) 働き方改革に関する取り組み

働き方改革関連法が平成31年4月より主要部分が施行されたことにより、本会においても年10日以上の有給休暇付与者に時期を指定して年5日以上の有給休暇を与えた。

雇用形態	付与日数	取得日数	取得率
正規職員(7名)	220日	31日	14.0%
再雇用職員(1名)	40日	5日	12.5%
嘱託職員(3名)	74日	12日	16.2%
臨時職員(1名)	19日	5日	26.3%
合計	353日	53日	69.0%

(5) 職員研修の実施

実施年月日・時間	内容	参加者	会場
令和3年7月14日(水) 17時15分～18時15分	テーマ「同和問題について」 講師 嘉麻市嘉穂隣保館 館長 橋垣 秀則 氏	11人	山田ふれあいハウス会議室
令和3年10月12日(火) 17時15分～18時30分	テーマ「ハラスメントの防止について」 講師 桐生社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士 桐生 敏成 氏	17人	山田ふれあいハウス会議室
令和4年3月5日(土) 10時00分～12時00分	テーマ「ホームページ更新研修」 講師 さいとうデータサービス 齊藤 麻美 氏	12人	山田ふれあいハウス本会事務所

(6) 職員募集及び採用試験の実施

本会の正規職員（幹部候補・地域福祉活動）を採用するため、年間を通して職員募集を継続し、随時採用試験を行った。

試験区分	募集方法	応募者数	第一次試験 (一般教養・小論文)	第二次試験 (面接)	結果
幹部候補職員	ハローワーク・求人情報 紙掲載他	1人	令和3年8月6日(金)	-	合格基準に届かず一次試験で不合格とした
	ハローワーク・求人情報 紙掲載他	1人	令和3年11月22日(月)	-	合格基準に届かず一次試験で不合格とした
地域福祉活動職員	ハローワーク・求人情報 紙掲載他	1人	令和3年4月16日(金)	-	合格基準に届かず一次試験で不合格とした
	ハローワーク・求人情報 紙掲載他	1人	令和3年6月15日(火)	-	合格基準に届かず一次試験で不合格とした
	ハローワーク・求人情報 紙掲載他	2人	令和3年9月11日(土)	令和3年9月18日(土)	1名を令和3年10月1日付で採用し、もう1名を令和3年11月1日付で採用した。

(7) 各種団体への助成

助成団体	助成額
嘉麻市行政区長連合会	100,000円
嘉麻市民生委員児童委員協議会	80,000円

(8) ポストカードの販売

取扱い先	販売枚数
稲築	0
山田	0
嘉徳	0
カッホー馬古屏	0
合計	0

(9) 飲料水自動販売機設置事業（令和3年4月～令和4年3月）

設置場所	販売本数	収入額
山田ふれあいハウス	1,833本	32,649円
合計	1,833本	32,649円

(10) 苦情の申し出 苦情申出件数 1件

□苦情の内容

区分	件数
事業（サービス）の内容	1
ケアの内容	0
個人の嗜好・選択	0
財産管理・遺産・遺言等	0
制度、法律、施策	0
その他	0
合計	1

□苦情の事業分類

地域福祉事業（件）	介護保険事業（件）	計画相談支援事業（件）	受託事業（件）
0	0	0	1

□結果

第三者委員へ申し立て	話し合いへの第三者委員の助言・立会い希望	福岡県苦情解決運営適正化委員会へ申し立て	継続中	解決済み
0	0	0	0	1

(11) 寄附

地区名	香典返し	初盆返し	一般寄附	物品寄附	合計
稲築地区	件 11	0	4	0	15
	額 283,000	0	16,863	-	299,863
碓井地区	件 5	0	1	0	6
	額 55,000	0	9,292	-	64,292
山田地区	件 9	0	0	0	9
	額 113,000	0	0	-	113,000
嘉徳地区	件 28	0	2	0	30
	額 425,000	0	41,640	-	466,640
市外	件 4	0	8	0	12
	額 540,000	0	1,115,900	-	1,655,900
合計	件 57	0	15	0	72
	額 1,416,000	0	1,183,695	-	2,599,695

## (12) 山田ふれあいハウスの維持・管理

内 容	施工業者及び施行日
浄化槽保守点検	(有) 田中サニタリー工業 令和3年4月30日(金) 令和3年5月25日(火) 令和3年6月25日(金) 令和3年7月29日(木) 令和3年8月31日(火) 令和3年9月27日(月) 令和3年10月29日(金) 令和3年11月29日(月) 令和3年12月17日(金) 令和4年1月27日(木) 令和4年2月28日(月) 令和4年3月29日(火)
電気設備点検	松本電気管理事務所 令和3年5月6日(木) 令和3年7月2日(金) 令和3年9月2日(木) 令和3年11月6日(土) 令和4年1月5日(水) 令和4年3月2日(水)
消防用設備等点検	(有) 筑邦トーハツ商会 令和3年5月11日(火) 令和3年11月19日(金)
事務所ブラインド取替	(株) 西田建設 令和4年1月24日(月)
ホール扉取替	(株) 西田建設 令和4年1月26日(水)
敷地内の樹木選定	井手グリーンサービス 令和4年2月25日(金)～26日(土)

## (13) 防火訓練の実施

令和4年2月14日(月) 15時00分～16時00分 参加者数7人

内容 ①火災発生・避難訓練・通報訓練

②避難後の点呼

③訓練終了後、水消火器を使用し、使い方を再確認した

④AEDが館内に設置されているので、使用方法を確認し、緊急時の対応についても確認を行った

## (14) 研修・連絡会・会議等への参加

参加年月日	内 容	会 場	出席者
令和3年4月8日(木)	職業紹介責任者講習	天神ビル	渡辺 進
令和3年4月8日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	小川 史佳
令和3年4月15日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	小川 史佳
令和3年5月13日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	小川 史佳
令和3年5月20日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	小川 史佳
令和3年6月3日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	小川 史佳
令和3年6月10日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	小川 史佳
令和3年6月30日(水)	令和3年度第1回嘉麻市障がい者施策推進協議会	嘉麻市役所本庁舎	安武 裕也
令和3年7月2日(金)	令和3年度日常生活自立支援専門員研修会Ⅰ	クローバープラザ	内田 広美
令和3年7月8日(木)	飯塚圏域障がい者自立支援ネットワーク令和3年度第1回全体会議	立岩交流センター	渡辺 進
令和3年7月17日(土)	福岡県地域福祉活動職員連絡会研修会	ビーポート甘木	小川 史佳
令和3年8月5日(木)	筑豊ブロック内市社協連絡協議会臨時会議	行橋市総合福祉センター	渡辺 進 小川 史佳
令和3年8月19日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	小川 史佳
令和3年8月26日(木)	嘉麻市地域ケア会議助言者連携会議	リモート	小川 史佳 内田 広美 安武 裕也 角 ちひろ 野見山 未佳 大里 真弓
令和3年9月2日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	小川 史佳
令和3年9月3日(金)	認知症地域医療連絡協議会	リモート	小川 史佳
令和3年9月9日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	小川 史佳
令和3年9月30日(木)	令和3年度第1回嘉麻市配偶者等からの暴力の防止対策連絡協議会	嘉麻市役所本庁舎	渡辺 進
令和3年10月7日(木)	一体化ケース会議	リモート	小川 史佳
令和3年10月14日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	小川 史佳
令和3年10月27日(水)	令和3年度生活福祉資金(教育支援資金)事務説明会	クローバープラザ	土屋 亜樹
令和3年11月4日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	小川 史佳
令和3年11月11日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	内田 広美
令和3年12月1日(水)	令和3年度第2回嘉麻市空家等対策協議会	嘉麻市役所本庁舎	内田 広美
令和3年12月2日(木)	一体化ケース会議	リモート	小川 史佳
令和3年12月9日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	内田 広美
令和3年12月9日(木)	令和3年度福岡県ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議	飯塚総合庁舎	角 ちひろ
令和3年12月16日(木)	令和3年度第1回嘉麻市自殺対策連携協議会	嘉麻市役所本庁舎	山崎 あゆみ
令和3年12月17日(金)	支所運営委員会	福岡嘉穂農協稲築支所	渡辺 進
令和3年12月22日(水)	令和3年度第4回嘉麻市障がい者施策推進協議会	嘉麻市役所本庁舎	吉田 文平
令和4年1月6日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	小川 史佳
令和4年1月13日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	内田 広美
令和4年1月19日(水)	嘉麻市地域ケア会議助言者連携会議	リモート	小川 史佳 内田 広美
令和4年1月20日(木)	筑豊ブロック市町村社協連絡協議会役員会議	行橋市総合福祉センター	渡辺 進 小川 史佳
令和4年2月3日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	小川 史佳
令和4年2月3日(木)	第5ブロック地域包括ケアシステム推進協議会	リモート	小川 史佳
令和4年2月4日(金)	認知症地域医療連絡協議会	リモート	小川 史佳
令和4年2月10日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	内田 広美
令和4年2月25日(金)	飯塚圏域障がい者自立支援ネットワーク権利擁護研修会	飯塚市穂波交流センター	渡辺 進
令和4年3月3日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	小川 史佳
令和4年3月10日(木)	地域ケア会議助言者会議	リモート	内田 広美
令和4年3月29日(火)	令和3年度第2回嘉麻市差別のない人権が尊重されるまちづくり審議会	うすい人権啓発センターあかつき	小川 史佳



## (15) 役職員の行政等委員会委員の就任状況

区分	委員会名	現委員名	任期	備考
嘉麻市	嘉麻市人権啓発センター運営審議会	野見山 利三	令和2年4月1日～令和4年3月31日	
	嘉麻市嘉隣保館運営審議会	大里 厚子	令和2年4月1日～令和4年3月31日	
	嘉麻市民生委員推薦会	野見山 桂子	令和3年6月30日～令和6年6月29日	
	嘉麻市配偶者等からの暴力の防止対策連絡協議会	渡辺 進	令和3年10月21日～令和5年10月20日	
	嘉麻市地域包括支援センター運営協議会	小川 史佳	令和2年11月1日～令和4年10月31日	
	嘉麻市地域密着型サービス運営委員会	小川 史佳	令和2年11月1日～令和4年10月31日	
	嘉麻市差別のない人権が尊重されるまちづくり審議会	小川 史佳	令和2年10月1日～令和4年9月30日	
	嘉麻市防災会議	小川 史佳	令和2年4月1日～令和4年3月31日	
	嘉麻市地域情報化推進協議会	伊藤 美穂	令和3年1月13日～令和5年1月12日	
	嘉麻市自殺対策連携協議会	山崎 あゆみ	令和2年4月1日～令和4年3月31日	
	嘉麻市空き家等対策協議会	内田 広美	令和4年2月3日～令和4年3月31日	委員の任期 令和6年2月2日
	嘉麻市地域福祉計画策定委員会	内田 広美	令和3年5月19日～令和4年3月31日	委員の任期 令和6年5月18日
	嘉麻市障がい者施策推進協議会	吉田 文平	令和2年4月1日～令和4年3月31日	
飯塚・嘉麻・桂川障がい者基幹相談支援センター	飯塚圏域障がい者地域自立支援ネットワーク委員会	渡辺 進	令和2年4月1日～令和4年3月31日	
福岡嘉穂農業協同組合	支所運営委員会	渡辺 進	令和3年11月1日～令和5年10月31日	

## (16) 車両の管理

区分	車両名	車種	車両No.	運行回数 (回)	走行距離 (km)	給油量 (ℓ)	整備・点検等				備考
							車検	タイヤ	オイル	修理等	
法人 (1台)	トヨタハイエース	普通	筑豊300と44-63	7	73	0.00				●	
	小計			7	73	0.00					1
地域活動 (2台)	ダイハツミラ	軽	筑豊480い93-96	554	8,904	1,497.83				●	●
	ダイハツハイゼット	軽	筑豊480う90-58	292	5,787	396.64	●				
	小計			846	14,691	1,894.47	1				1
日常生活 (2台)	トヨタピクシスバン	軽	筑豊480き96-85	463	8,782	596.31					●
	スズキスペーシア	軽	筑豊580て71-98	459	8,581	428.22	●			●	●
	小計			922	17,363	1,024.53	1			1	2
生活困窮 (2台)	スズキアルト	軽	筑豊580つ645	494	13,738	964.36	●	4本		●	
	ニッサンバネット	普通	筑豊400す520	223	6,872	412.96	●			●	
	小計			717	20,610	1,377.32	2	4本		2	
山田配食 (3台)	ダイハツミライース	軽	筑豊580そ12-62	344	6,476	463.16				●	
	スズキワゴンR	軽	筑豊580は46-09	91	1,428	68.74					
	ダイハツミライース	軽	筑豊580す53-45	408	6,806	605.56				●	●
	小計			843	14,710	1,137.46				2	1
稲築配食 (3台)	ダイハツミライース	軽	筑豊580と70-12	365	9,535	734.88	●	4本		●	
	ダイハツミライース	軽	筑豊580と70-13	368	11,106	774.00	●	4本		●	
	ダイハツハイゼット4WD	軽	筑豊480き57-16	365	11,258	1,103.15					
	小計			1,098	31,899	2,612.03	2	8本		2	
嘉穂配食 (1台)	ダイハツミライース	軽	筑豊580す53-47	375	15,918	945.02				●	●
	小計			375	15,918	945.02				1	1
碓井配食 (2台)	ダイハツハイゼット	軽	筑豊480き67-34	270	6,548	529.64				●	●
	ダイハツミライース	軽	筑豊580す53-44	436	9,033	533.82					●
	小計			706	15,581	1,063.46				1	2
	合計			5,514	130,845	10,054.29	6	12本		10	8

# 地域福祉・在宅福祉推進部門

## 【地域生活支援係】事業報告

### ■具体的事業活動

#### 1. 市受託事業

##### (1) 配食サービス事業

##### ① 稲築、山田、碓井、嘉穂地区における配食サービスの実施

・実施日 365 日

・延べ利用者数 2,895 人（普通食 1,860 人 特別食 1,035 人）

内訳 稲築地区 1,504 人（男性 373 人 女性 1,131 人）（普通食 882 人 特別食 622 人）

山田地区 719 人（男性 230 人 女性 489 人）（普通食 526 人 特別食 193 人）

碓井地区 270 人（男性 93 人 女性 177 人）（普通食 154 人 特別食 116 人）

嘉穂地区 402 人（男性 106 人 女性 296 人）（普通食 298 人 特別食 104 人）

・延べ配食数（夕食） 61,261 食（普通食 39,485 食 特別食 21,776 食）

内訳 稲築地区 32,483 食（普通食 18,624 食 特別食 13,859 食）

山田地区 15,257 食（普通食 11,867 食 特別食 3,390 食）

碓井地区 6,090 食（普通食 3,210 食 特別食 2,880 食）

嘉穂地区 7,431 食（普通食 5,784 食 特別食 1,647 食）

・一日平均配食数 167.8 食（稲築地区 89.0 食 山田地区 41.8 食 碓井地区 16.7 食 嘉穂地区 20.3 食）

・朝食延べ提供数 5,337 食（稲築地区 2,694 食 山田地区 1,301 食 碓井地区 821 食 嘉穂地区 521 食）

##### ② 衛生管理の徹底

調理員の細菌検査（赤痢・サルモネラ・大腸菌）を 12 回、ノロウイルス細菌検査を 1 回実施した。

##### ③ 配達 山田地区を 2 コース 稲築地区を 3 コース 嘉穂地区を 1 コース 碓井地区を 1 コースの 7 コースに分けて配達した。

##### ④ 転送電話の相談対応 1 件

##### ⑤ 献立ミーティングの開催 12 回開催した。

##### ⑥ 配達時に利用者が不在であった場合の対応

・不在の主な理由 介護サービス利用による外出や通院等

・電話連絡での安否確認 2,652 回（稲築地区 1,327 回 山田地区 547 回 碓井地区 449 回 嘉穂地区 329 回）

地区	令和 3 年度	令和 2 年度	比較増減
稲築地区	1,327	1,126	201
山田地区	547	663	△116
碓井地区	449	397	52
嘉穂地区	329	421	△92
合計	2,652	2,607	45

・再訪問での安否確認 1,321 回（稲築地区 1,209 回 山田地区 54 回 碓井地区 38 回 嘉穂地区 20 回）

地区	令和 3 年度	令和 2 年度	比較増減
稲築地区	1,209	1,036	173
山田地区	54	27	27
碓井地区	38	0	38
嘉穂地区	20	4	16
合計	1,321	1,067	254

##### ⑦ 利用者への緊急対応

地区	年月日：時間	配達時の状況及び対応
稲築地区	令和 4 年 2 月 1 日（火） 16 時 00 分	配達時にトイレで倒れているところを発見。救急車及び関係機関に連絡を入れた。意識はなく、救急隊員より心肺蘇生の指示を受ける。救急車到着し、死亡確認された。 （一人暮らしの 70 歳代男性で、配食は毎日利用）
稲築地区	令和 4 年 3 月 12 日（土） 16 時 30 分	配達時に不在で再訪問しても不在。緊急連絡先である家族とも連絡が取れず、関係機関に連絡を入れた。当日午前 9 時に緊急通報システムの装置が作動して以降、安否不明。担当課より自宅で待機の指示を受けた。19 時 30 分に家族と帰宅され、不幸ごとのため通夜に参列していたとのことだった。 （一人暮らしの 80 歳代女性で、配食は毎日利用）

#### 【参考】配食サービス事業実績の年度別比較

地区名	分類項目	令和 3 年度	令和 2 年度	比較増減
稲築地区	延べ利用者数（人）	1,504	1,547	△43
	普通食利用者数（人）	882	873	9
	特別食利用者数（人）	622	674	△52
山田地区	延べ利用者数（人）	719	779	△60
	普通食利用者数（人）	526	614	△88
	特別食利用者数（人）	193	165	28
碓井地区	延べ利用者数（人）	270	287	△17
	普通食利用者数（人）	154	170	△16
	特別食利用者数（人）	116	117	△1

嘉穂地区	延べ利用者数 (人)	402	405	△3
	普通食利用者数 (人)	298	310	△12
	特別食利用者数 (人)	104	95	9
利用者合計 (人)		2,895	3,018	△123
稲築地区	延べ配食数 (食)	32,483	33,334	△851
	普通食 (食)	18,624	13,898	4,726
	特別食 (食)	13,859	19,436	△5,577
山田地区	延べ配食数 (食)	15,257	15,651	△394
	普通食 (食)	11,867	11,354	513
	特別食 (食)	3,390	4,297	△907
碓井地区	延べ配食数 (食)	6,090	6,598	△508
	普通食 (食)	3,210	3,623	△413
	特別食 (食)	2,880	2,975	△95
嘉穂地区	延べ配食数 (食)	7,431	8,018	△587
	普通食 (食)	5,784	5,591	193
	特別食 (食)	1,647	2,427	△780
配食数合計 (食)		61,261	63,601	△2,340
稲築地区	一日平均配食数 (食)	89.0	91.3	△2.3
山田地区	"	41.8	42.8	△1.0
碓井地区	"	16.7	18.0	△1.3
嘉穂地区	"	20.3	21.9	△1.6
一日平均配食数合計 (食)		167.8	174.0	△6.2
稲築地区	朝食延べ提供数 (食)	2,694	3,073	△379
山田地区	"	1,301	1,459	△158
碓井地区	"	821	1,000	△179
嘉穂地区	"	521	365	156
朝食延べ提供数合計 (食)		5,337	5,897	△560

## 2. 独自事業

### (1)チャイルドシート貸出事業

#### ①相談、貸出、返却等窓口業務実績

貸出件数 32 件 (新規貸出 4 件 更新貸出 28 件)

申請者と乳幼児との間柄

新規貸出						更新貸出						未更新貸出					
父	母	祖父	祖母	おじ	おば	父	母	祖父	祖母	おじ	おば	父	母	祖父	祖母	おじ	おば
0	1	1	2	0	0	0	10	5	13	0	0	4	9	0	1	0	0

#### ②安全確保のために、定期的な処分と購入

乳幼児用のチャイルドシートを 5 台購入した。(令和 3 年 10 月 13 日)

購入後 5 年以上が経過しているチャイルドシートを 10 台廃棄した。(令和 4 年 2 月 24 日)

未更新貸出利用者 14 名に意思確認を行った。(令和 3 年 10 月 4 日実施)

更新	宛先不明	耐用年数超過にて処分
1	3	10

未更新貸出利用者 13 名については、契約更新の意思がないと判断し契約解除と耐用年数が超過しているため、13 台廃棄処分とした。

(令和 3 年 11 月 4 日)

#### ③チャイルドシートの在庫数 (令和 4 年 3 月 31 日現在)

種 類	在 庫 数
乳幼児用	0
ジュニア用	4

**(2)紙おむつ宅配事業の実施**

**①相談、配達等の窓口業務**

利用者数 5 人 延べ利用数 52 件 販売パック数 153 袋

**【利用者内訳】**

地区	稲築		碓井		山田		嘉穂	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
利用者数	2	2	0	0	0	0	0	1

**【種類別の販売パック数内訳】**

商品名	パンツタイプ			テープ止めタイプ	尿取りパット			
	パワフルパンツ【S】	パワフルパンツ【M】	パワフルパンツ【L】	股モレ防止通気性【M】	紙おむつ専用安心フィット	パワフルワイド【夜用】	スーパー【男女共用】	レギュラー【男女共用】
パック数	16	82	0	1	40	13	1	0

**(3)福祉機器(車いす)貸出事業の実施**

**①相談、貸出、返却等の相談窓口**

車いす貸出件数 17 件

**【利用区分】**

介護保険の非該当者	介護保険給付による機器利用ができない	在宅の障がい者	施設・医療機関からの一時帰宅	市内小・中学校・高等学校	その他
1	5	3	2	5	1

破損や老朽化している車いすを 15 台破棄した。(令和 4 年 2 月 22 日)

**②車いすの在庫数 (令和 4 年 3 月 31 日現在)**

種類	在庫数
介助式	4
自走式	3

**(4)子育てリユースセンターの運営**

延べ利用者 222 人 寄付物品数 2,969 点

リユース品数 1,540 点 (児童用衣類 帽子 おもちゃ コンビラック チャイルドシート ジュニアシート かばん ランドセル ベビーベッド 絵本 長靴 体操服 学生服など)

新型コロナウイルス感染症予防対策にて、緊急事態宣言中の期間は休館(令和 3 年 5 月 12 日～6 月 20 日、8 月 20 日～9 月 30 日) 感染予防対策を行いながら実施した。

**(5)バス待合所の管理**

**①バス待合所実態調査の実施**

継続して管理が必要なバス待合所 30 カ所(稲築地区)

行政区	待合所名	修理の必要性	行政区	待合所名	修理の必要性	行政区	待合所名	修理の必要性
漆生本村	漆生本村(上り)	柱の塗装	鴨生第一	鴨生第一(下り)	柱補強・天井補修	辻中籠	中籠り(上り)	
漆生本村	沖出(下り)	柱の塗装	鴨生第一	鴨生口第二(上り)	柱補強・天井補修	辻中籠	中籠り(下り)	柱の塗装
漆生南部	大坪団地	柱の塗装	鴨生第一	鴨生口第一(上り)	柱の塗装	辻中籠	辻(上り)	柱の塗装
漆生南部	大坪団地(市バス)	屋根補修	鴨生第一	鴨生口第一(下り)	柱補強・塗装	辻中籠	山野社宅	柱の塗装
西岩崎	神社前(上り)	柱の塗装	鴨生第一	稲築交番(上り)	柱補強・屋根補修	緑ヶ丘	緑ヶ丘(上り)	
口春	口の春(下り)		鴨生第一	稲築交番(下り)	柱補強・屋根補修	銭代坊	銭代坊(上り)	
山野第一	山野団地(上り)	壁のひび割れ	鴨生第二	白門(上り)	柱補強・天井補修	銭代坊	銭代坊(下り)	柱の塗装・補修
山野第一	山野(上り)		鴨生第二	白門(下り)	柱補強・天井補修	枝坂	枝坂(上り)	
山野第一	山野(下り)		宮地	宮地(上り)		枝坂	枝坂(下り)	屋根・柱の塗装・補修
鴨生第一	鴨生第一(上り)	柱の塗装	宮地	宮地(下り)	柱の塗装	西岩崎	稲築学校	

・実態調査 令和 3 年 11 月 29 日(月)、12 月 3 日(金)、令和 4 年 2 月 9 日(水)に実施した。

・修繕 中籠り(上り)床板(1カ所)

**②今年度撤去したバス待合所 5カ所（稲築地区）**

行政区	待合所名	行政区	待合所名	行政区	待合所名	行政区	待合所名	行政区	待合所名
漆生中央	稲築八幡宮	山野第一	山野保育園	才田日吉	才田日吉	緑ヶ丘	緑ヶ丘（下り）	平東	平東

撤去理由 老朽化と福祉バス路線廃止のため

**③バス停ベンチの廃棄及び譲渡**

稲築地区 ロの春、1台廃棄した。（令和3年11月29日）

嘉穂地区 嘉穂野球場4台・下牛隈公民館（上り）1台・牛隈（下り）1台廃棄した。（令和4年3月10日）

碓井地区 碓井庁舎前市バスベンチについては、嘉麻市役所地域活性推進課に譲渡した。（令和4年3月18日）

**③撤去に伴う行政担当課（総務課・地域活性推進課）との協議**

12月20日（月）実施した。

**(6)アルミ缶等リサイクル事業**

**①アルミ缶等の換金**

換金及び総量9回1,570kg（アルミ缶9回710kg 新聞紙1回90kg 雑誌3回300kg 段ボール6回470kg）

換金額49,840円（アルミ缶44,300円 新聞紙540円 雑誌1,370円 段ボール3,630円）

**②協力者への回収袋の配布**

アルミ缶等の寄付をいただいた方にお礼として回収袋を手渡した。204件（稲築34件 碓井8件 山田71件 嘉穂25件 その他66件）

# 地域福祉・在宅福祉推進部門 総合相談・地域づくり推進係

## 【かま生活支援・相談センター】 事業報告

### 1. 総括

新型コロナウイルスの影響で、人が集まる行事やイベントの中止が相次ぐようになって2年以上が経過し、コロナ禍で不安や困りごとを抱える人の孤独や孤立が社会問題として大きく取り上げられるようになりました。また、DVや虐待の相談件数は増え続け、SNSを用いた相談窓口にも、多くの若者からの相談が相次ぎ、自殺者も11年ぶりに増加に転じています。孤独や孤立に至る背景は多岐にわたり、年齢や性別、その人がおかれている環境等によって大きく変わるため、その状態像を明確に表すことはできませんが、どんな形でも、人と人がつながり続けることの大切さを改めて感じました。ワクチン接種が推奨され、感染予防対策をしっかりと行うことで、少しずつですがサロンや見守りなど地域活動等が再開され始めていますが、本市においてもつながりを喪失して孤立を深めている方々はおられると思いますので、地域の福祉力を高めることが必要だと思っています。

令和3年度にかま生活支援・相談センター（以下「センター」という。）で受けた相談は984件（前年比49件減）で、これ以外に心配ごと相談での相談が23件（前年比14件増）、法律相談での相談が33件（前年比13件増）ありました。相談の内容は、家族関係や近所とのトラブル、子育てに悩む母親や不登校児童、ひきこもり、困窮問題など、複雑で多様化した内容も多く、各センターや他機関と連携しながら相談に応じるとともに、地域のみなさんと一緒に、その困りごとを自分事として捉え、自分たちができることを考える地域づくりに生かしています。

本会の会員については、加入件数は前年度より7件減の916件でしたが、会費額については前年度より27,000円増の1,090,000円となりました。

高齢者介護課から受託する生活支援体制整備事業の第2層協議体については、5～6回しか開催することができず、買い物や通院のための移動手段の確保や、見守り、居場所づくりなど、各校区の課題やニーズはあるものの、継続した話し合いが難しく、仕組みづくりには至りませんでした。また、各校区の活動状況を知り、かつ先進地の取り組みを学ぶための全体会についてはZoomで開催し、今年度は生涯現役を掲げ地域の活性化や担い手の育成に取り組んでいる北九州市いきがいステーションの話を聞き、仲間づくりの大切さや継続可能な活動の仕組みづくりについて学びました。さらに今年度は、就労的活動支援コーディネーターを配置して、これまでの経験や特技を生かして地域とつながりたいと思っている高齢者等と日常業務では手が回らず、手助けがあったらいいなど思っている民間企業や福祉施設等とをコーディネートするWinWin事業（お互い様の関係づくり）に取り組み、手助けを求めた2施設で1名の方が35回活動しました。

ふくおかライフレスキュー事業において、生活に困窮した状態で相談につながった4件（前年比6件減）の生活を立て直すため、現物支給による食材や日用品の購入、ライフラインの支払いを行いました。同事業で対応できない市営住宅を強制退去となる世帯の家賃の支払いやスズメバチの撤去費用については、かま福祉ネットワーク委員会から捻出してもらいました。また、家族との折り合いが悪く家を出たのち、他町のアパートで一人暮らしをしていたが強制退去となった未成年者からの相談には、賃貸契約が結べるようになる民法改正（成人年齢の引き下げ）を待の間、寄ってこハウスで211日間過ごしてもらいましたが、その間は、フリースペースやおしゃべりサロンを寄ってこハウスで開催できず、また、同じような相談があった場合には対応できないという課題も見えてきました。

また、スマートフォンやタブレットでも閲覧でき、一人でも多くの方々とつながることができるようホームページをリニューアルしたほか、全ての職員が更新作業を負担なくできるよう研修会も開催しました。さらには、各地区の民生委員と連携して、災害時や緊急時に一人暮らしの高齢者等の家族やサービス事業所等と連絡がとれるように、安心カードの拡充に努めました。

### 2. 事業実績、

#### (1)相談窓口の開設

##### ①福祉なんでも相談(24時間365日)の受け付け

相談件数984件（稲築地区308件、碓井地区234件、山田地区109件、嘉穂地区291件、市外40件、不明2件）

（男性248件、女性303件、団体等433件）

（来所34件 訪問464件 時間外訪問1件 電話445件 転送電話4件 メール1件 その他35件）

##### ②法律相談 相談件数33件（稲築20件、碓井1件、山田11件、嘉穂1件）

##### ③心配ごと相談 相談件数23件（稲築地区22件 碓井地区0件 山田地区1件 嘉穂地区0件）

#### (2)会員の募集及び拡充

##### ①会員募集啓発チラシの配布

事業の啓発チラシを作成し、福祉推進員（稲築地区）や会員募集世話人（山田地区）の方々の協力を得て加入を呼びかけた。

##### ②山田地区会員募集世話人会の開催

開催年月日/令和3年10月7日（木） 参加者数/13名 開催場所/山田ふれあいハウスホール

内容/1. 令和3年度会員募集のお願いについて（世話人別会員募集資料等について） 2. 会員募集に関する意見交換について 3. その他

### ③会員加入状況

地区名	個人会員		法人・団体会員		在宅福祉サービス会員				福祉機器 利用会員		空き家管理 サービス 利用会員		合計	
					地域支えあい 事業		在宅介護者の 集い							
	会員数 (件)	金額 (円)	会員数 (件)	金額 (円)	会員数 (件)	金額 (円)	会員数 (件)	金額 (円)	会員数 (件)	金額 (円)	会員数 (件)	金額 (円)	会員数 (件)	金額 (円)
稲築地区	596	598,000	13	130,000	4	4,000	0	0	14	14,000	0	0	627	746,000
碓井地区	7	8,000	0	0	1	1,000	0	0	3	3,000	0	0	11	12,000
山田地区	203	205,000	8	51,000	3	3,000	0	0	6	6,000	0	0	220	265,000
嘉穂地区	11	16,000	29	29,000	1	1,000	0	0	7	7,000	0	0	48	53,000
市外	4	8,000	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6,000	10	14,000
合計	821	835,000	50	210,000	9	9,000	0	0	30	30,000	6	6,000	916	1,090,000

### (3)生活支援体制整備事業の推進(市受託事業)

#### ①協議体の開催

##### ・全体会の開催

日時・会場	内容	参加者
令和4年3月18日(金) 13:30~15:00 嘉麻市社会福祉協議会会議室	テーマ1 北九州いきがい活動ステーションの取り組みについて 北九州いきがい活動ステーション 福永 和子さん テーマ2 地域で学ぶ、チームで学ぶ 楽しみながら活動! NPO 法人夢追いサポートセンター 雨宮 隆さん	参加者14名 (市民5名、高齢者介護リモート参加9名)

##### ・なつきちゃんにし(稲築西校区)

	日時・会場	内容	参加者
第1回	令和3年4月15日(木) 13:30~14:30 稲築地区公民館	・前回の振り返り ・見守りの仕組みづくりについて	参加者2名(市民2名)
第2回	令和3年7月15日(木) 13:30~13:45 稲築地区公民館	・今後の協議体について	参加者がいなかったため中止した
第3回	令和3年10月21日(木) 13:30~14:30 稲築地区公民館	・今後の協議体について	参加者5名(市民2名、在宅介護支援センター1名、高齢者介護課2名)
第4回	令和3年11月18日(木) 13:30~14:30 稲築地区公民館	・コロナ禍での行事開催について ・見守りの仕組みづくりについて	参加者3名(市民1名、高齢者介護課2名)
第5回	令和3年12月16日(木) 13:30~14:30 稲築地区公民館	・コロナ禍での行事開催について ・地域の情報リストの作成について	参加者5名(市民3名、高齢者介護課2名)
第6回	令和4年1月20日(木) 13:30~15:00 稲築地区公民館	・地域の情報リストの作成について ・来年度の協議体について (行政区の公民館での開催を検討)	参加者5名(市民2名、在宅介護支援センター1名、高齢者介護課2名)

##### ・なつきちゃんにしの活動状況及び課題

協議体を6回開催し延べ20名が参加した。参加者が減っているため、毎回メンバーに電話し参加を促した。参加した民生委員から、コロナ禍で訪問活動が行えず、ふれあい・いきいきサロンも開催できない状況が続いており、地域のつながりが以前にも増して希薄化しているとの声が上がったが、なかには、サロン等の集まりを望む方と感染を心配し集まりに反対する方がおられ、行政区内でも、意見がぶつかることが増えているとのことだった。また、サロンを再開した際に、認知症が進んでいるのではないかと感じることもあり、家族にどのように伝えていけばよいかわからないとの意見も出たため、救急安心カードや本会のあんしんカードを活用した、見守りの仕組みづくりについて考えていくことにした。

##### ・なつきちゃんひがし(稲築東校区)

	日時・会場	内容	参加者
第1回	令和3年4月15日(木) 10:00~11:00 鴨生町公民館	・全体会の報告 ・鴨生町行政区について(見守り、行事)	参加者8名(市民7名、在宅介護支援センター1名)
第2回	令和3年7月15日(木) 10:00~11:00 鴨生北町公民館	・昨年度の振り返り ・鴨生北町行政区について(行事、移動手段、災害)	参加者7名(市民6名、高齢者介護課1名)
第3回	令和3年10月21日(木) 10:00~11:00 平東公民館	・前回の振り返り ・平東行政区について(住民、地域活動、移動手段)	参加者10名(市民7名、在宅介護支援センター1名、高齢者介護課2名)

第4回	令和3年11月18日(木) 10:00~11:00 鴨生町公民館	・前回の振り返り ・鴨生町行政区について(地域活動、組織、見守り、地図を活用し情報を見える化)	参加者7名(市民4名、在宅介護支援センター1名、高齢者介護課2名)
第5回	令和3年12月16日(木) 10:00~11:00 枝坂公民館	・前回の振り返り ・枝坂行政区について(地図を活用し情報を見える化)	参加者12名(市民9名、在宅介護支援センター1名、高齢者介護課2名)
第6回	令和4年1月20日(木) 10:00~11:00 銭代坊公民館	・前回の振り返り ・銭代坊行政区について(地域活動、見守り、今後の取り組み)	参加者9名(市民7名、高齢者介護課2名)

#### ・なつきちゃんひがしの活動状況及び課題

協議体を6回開催し延べ53名が参加した。鴨生町と枝坂行政区では、地図を使って高齢者世帯や空き家、災害のリスクが高いところなどを色分けし、どこの誰がどのように困っているのかを把握する方法について話し合った。お互いに気かけ合える関係づくりができればよいが、嫌がる人がいたり、行政区に加入しているかどうかで差別が生まれるのではないかと心配する声もあった。また、平東行政区では、買い物や通院手段に困っている方やデマンドバスの仕組みを知らない方がいたことから、行政区長の協力を得て買い物に困っている方に声をかけ、出前講座を利用して登録方法や利用の仕方を学び、実際に買い物に行ってみることにした。

#### ・喜麻い隊うすい(碓井校区)

	日時・会場	内容	参加者
第1回	令和3年4月16日(金) 13:30~14:30 碓井地区公民館	・全体会の報告 ・昨年度の振り返り ・今後の協議体について	参加2名(市民1名、通所介護うすいの里1名)
第2回	令和3年7月16日(金) 13:30~14:30 笹原公民館	・笹原行政区について(人、心配ごと)	参加者4名(市民2名、通所介護うすいの里1名、高齢者介護課2名)
第3回	令和3年10月15日(金) 13:30~14:30 飯田公民館	・前回の振り返り ・飯田行政区について (心配ごと、地図を活用し情報を見える化)	参加者9名(市民7名、高齢者介護課2名)
第4回	令和3年11月19日(金) 13:30~14:30 昭嘉公民館	・前回の振り返り ・昭嘉行政区について (組織、移動手段、活動、地図を活用し情報を見える化)	参加者14名(市民11名、通所介護うすいの里1名、高齢者介護課2名)
第5回	令和3年12月17日(金) 13:30~14:30 笹原公民館	・前回の振り返り ・笹原行政区について(見守り体制、移動手段) ・気軽に集える居場所づくりについて(ラジオ体操)	参加者7名 (市民6名、高齢者介護課1名)
第6回	令和4年1月21日(金) 13:30~14:30 光代塚田公民館	・協議体とは ・光代行政区について(世帯数・組織・災害・心配ごと) ・地域でやってみようについて	参加者7名 (市民5名、高齢者介護課2名)

#### ・喜麻い隊うすいの活動状況及び課題

協議体を6回開催し延べ43名が参加した。飯田行政区と昭嘉行政区では、地図を使って高齢者世帯や空き家、災害のリスクが高いところなどを色分けしたところ、顔の見える関係づくりや見守り活動の必要性を感じるという声が上がった。また、笹原行政区では公園でラジオ体操を始めることになり、チラシを作成するなど、主体的な活動が始まった。光代行政区ではふれあい・いきいきサロンをスタートしたが、コロナ禍でほとんど実施できずもどかしさを抱えているが、その中で、災害時の安否確認などに取り組みたいという声があがった。

#### ・あつとふるやまだ(山田校区)

	日時・会場	内容	参加者
第1回	令和3年4月27日(火) 13:30~14:30 白馬ホール	・コロナ禍での地域活動を聞き取り ・市バスについて ・今後の協議体について	参加者9名(市民7名、高齢者介護課2名)
第2回	令和3年7月27日(火) 13:30~14:30 白馬ホール	・市バス調査に向けて ・バス新聞作成に向けて ・バス新聞 試し書き	参加者8名(市民6名、在宅介護支援センター1名、高齢者介護課1名)
第3回	令和3年10月26日(火) 13:30~14:30 白馬ホール	・バス新聞作成に向けて ・小さな拠点づくりの活動について	参加者11名(市民8名、在宅介護支援センター1名、高齢者介護課2名)
第4回	令和3年11月30日(火) 13:30~14:30 山田生涯学習館	・バス新聞作成に向けて	参加者8名(市民5名、在宅介護支援センター1名、高齢者介護課2名)
第5回	令和3年12月14日(火) 13:30~14:30 山田活性化センター	・市バス調査を終えての報告 ・今後の協議体について	参加者6名(市民4名、高齢者介護課2名)



### ・あっとふるやまだの活動状況及び課題

協議体を5回開催し延べ42名が参加した。校区の住民4名と買い物や通院を想定した市バス調査（稲築方面・碓井方面）を実施した。初めて市バスに乗った参加者から、「自分たちが車を運転できなくなっても、なんとか買い物や病院に行けそう」との声が聞かれ、また、自ら行動したことで気づきもあった。さらには、民生委員と連携してあんしんカードを作成する取り組みが進んでおり、近隣住民を巻き込んだつながりづくりに向けて動き出した。

### ・嘉穂ますます会(嘉穂校区)

	日時・会場	内容	参加者
第1回	令和3年4月19日(月) 13:30~15:00 夢サイトかほ	・全体会の報告 ・市バス、デマンド運行型バスについて ・ちょっとした困りごとについて	参加者11名(市民11名)
第2回	令和3年7月26日(月) 13:30~14:30 下牛隈公民館	・前回の振り返り ・地域で気になる人について ・災害時の危険箇所について	参加者8名(市民7名、高齢者介護課1名)
第3回	令和3年10月18日(月) 13:30~14:30 旧宮野小学校	・前回の振り返り ・宮野行政区について(移動手段、心配ごと) ・今後の協議体について	参加者12名(市民11名、高齢者介護課1名)
第4回	令和3年11月15日(月) 13:30~14:30 千手いこいの家	・前回の振り返り ・市バスのお試し利用について ・移動手段の聞き取り調査について	参加者7名(市民6名、高齢者介護課1名)
第5回	令和3年12月20日(月) 13:30~14:30 下牛隈公民館	・前回の振り返り ・市バスのお試し利用について	参加者10名(市民10名)
第6回	令和4年1月17日(月) 13:30~14:30 足白公民館	・前回の振り返り ・市バスのお試し利用について	参加者8名(市民6名、高齢者介護課2名)

### ・嘉穂ますます会の活動状況及び課題

協議体を6回開催し延べ56名が参加した。デマンドバスを利用したお試しバスツアーを企画したが、新型コロナウイルスの影響で延期となった。また、また、高齢者の見守り活動や、日ごろからの隣近所の声かけ、ちょっとした変化への気づきなどについて話し合った。

## ②民間企業等と連携したWin Win 事業(お互い様の関係づくり)の推進

### ・啓発活動

就労的活動支援コーディネーターを配置して、これまでの経験や特技を生かして地域とつながりたいと思っている高齢者等と日常業務では手が回らず、手助けがあったらいいなと思っている民間企業や福祉施設とをコーディネートし、お互い様の関係づくりを広げていくことを目的とするWinWin事業の啓発に努めた。手助けを必要としている福祉施設からは、施設内の草刈りや食事の配下膳、公用車の洗車などのニーズのほか、行政区からは空き地等の草刈りのニーズがあった。

- ・手助けを求めた福祉施設及び内容 2施設(山田学園、ケアハウスやまだきしろ) 樹木の剪定及び草刈り
- ・特技等を活かしての活動 1名の方が延べ35回105時間活動した。

## (4)稲築、碓井、山田、嘉穂地域福祉推進委員会の開催

- ・稲築地域福祉推進委員会 3回(第36~38回) 延べ出席者数23名 4月20日(火)、11月9日(火)、2月17日(木)
- ・碓井地域福祉推進委員会 3回(第38~40回) 延べ出席者数23名 4月26日(月)、11月12日(金)、2月22日(火)
- ・山田地域福祉推進委員会 3回(第33~35回) 延べ出席者数24名 4月30日(金)、11月11日(木)、2月18日(金)
- ・嘉穂地域福祉推進委員会 3回(第37~39回) 延べ出席者数23名 5月11日(火)、11月19日(金)、2月24日(木)

## (5)地域福祉部の拡充・活動支援

①地域福祉部に対する活動助成 助成件数18件 助成額507,400円(稲築地区)

②福祉推進員の開催 回数4回 延べ出席者数75人(稲築地区)

③福祉推進員代表者会の開催 回数6回 延べ出席者数26人(稲築地区)

④福祉推進員ブロック別懇談会の開催 内容/地域福祉部の役割とサロン参加者の緊急対応について話し合った。

- ・第1ブロック 開催年月日 令和4年1月18日(火) 出席者数 4名 会場 才田第二公民館
- ・第3ブロック 開催年月日 令和4年1月14日(金) 出席者数 5名 会場 口春公民館
- ・第4ブロック 開催年月日 令和4年1月29日(土) 出席者数 5名 会場 鴨生第二公民館
- ・第5ブロック 開催年月日 令和4年1月11日(土) 出席者数 7名 会場 平第一公民館

※漆生中央行政区は第1ブロック参加、東岩崎行政区は第3ブロック参加

## ⑤行政区での住民懇談会及び出前講座の開催

- ・碓井地区 ・碓井地区委員児童委員協議会にて、協議体の案内を行った。令和3年4月19日(月)、7月12日(月)
- ・山田地区 ・山田地区民生委員児童委員協議会にて、「あんしんカードの活用について」話した。令和4年3月11日(金)
- ・嘉穂地区 ・嘉穂地区委員児童委員協議会にて、協議体の案内を行った。令和3年7月15日(木)、10月21日(木)、11月18日(木)

## (6)ふれあい・いきいきサロンの拡充・活動支援

### ①ふれあい・いきいきサロン代表者会の開催 2回

- ・稲築地区ふれあい・いきいきサロン代表者会 令和3年4月7日(水) 参加者数 15名
- ・3地区合同ふれあい・いきいきサロン代表者会 令和3年4月8日(木) 参加者数 14名

### ②ふれあい・いきいきサロン活動に対する活動費の助成

- ・設置状況 36カ所(稲築地区18件、碓井地区7件、山田地区5件、嘉穂地区6件)
- ・助成件数 36件(稲築地区18件、碓井地区7件、山田地区5件、嘉穂地区6件)
- ・助成額 942,620円(稲築地区430,380円、碓井地区187,580円、山田地区129,090円、嘉穂地区195,570円)
- うち新規設置件数2カ所(稲築地区1件、碓井地区1件)

### ③情報提供活動及び映画上映、出前講座等による活動支援

- ・碓井地区 ・光代ふれあい・いきいきサロンで出前講座「災害に備えて」を行った。令和3年6月26日(土)
- ・山田地区 ・木城サロンでマップ作りをしながら、高齢者の見守りについて話し合った。令和3年4月14日(木)
- ・下宮老人クラブいきいきサロンにて出前講座「防災について」を行った。令和3年7月2日(金)
- ・友愛サロンにてマップ作りをしながら、高齢者の見守りについて話し合った。令和3年12月7日(火)
- ・嘉穂地区 ・具嶋サロンにて、協議体の案内を行った。令和3年7月28日(水)

## (7)もしもの時に備える安心カードの拡充

- ・民生委員12名から、担当地区の高齢者等97名の安心カードの提出があった。

## (8)地域支えあい事業の推進

### ①相談の受付及び登録、コーディネート業務

- ・相談、登録、コーディネート業務・サービス提供実績
- 提供回数 33回(稲築地区5回 碓井地区5回 山田地区17回 嘉穂地区6回)
- 提供時間 59時間30分(稲築地区7時間30分 碓井地区14時間 山田地区26時間 嘉穂地区12時間)
- 提供内容 草取り(7回 20時間30分) / 草刈り(8回 18時間30分) / 住居などの掃除・整理整頓(8回 12時間)
- 庭木の剪定(4回 3時間30分) 害虫駆除(5回 4時間) / その他(1回 1時間)

- ②登録状況 利用会員 登録者数47名(入会者3名 退会者0名)
- 協力会員 登録者数26名(入会者2名 退会者0名)

## (9)社会福祉法人の社会貢献活動を広げるための事業推進

### ①かま福祉ネットワーク委員会加入法人 14法人 22施設

- ・嘉穂郡社会福祉協会(嘉麻学園、かほの森、松寿園) ・愛光会(清浄学園) ・嘉穂福祉会(三愛園、三光園) ・稲築福祉会(誠心園)
- ・翼会(つばさ学園) ・恵寿会(山田学園) ・嘉穂の里(さくら学園、第2さくら学園) ・稲穂会(稲穂園、第二稲穂園)
- ・内野会(シルバーケア嘉穂) ・筑豊会(筑豊園、うすいの里) ・山田福祉会(たちばな苑)
- ・ひまわり会(ひまわり園、ほ乃ぼの園、ユニットひまわり) ・山田慈恵会(ケアハウスやまだきしろ) ・嘉麻市社会福祉協議会

### ②かま福祉ネットワーク委員会の開催

- ・第1回 開催年月日 令和3年9月21日(火) 参加者数 12法人 16施設 19名(会場参加者8名、リモート参加者11名)
- 内容/令和2年度の活動実績について、令和3年度の会費及び取り組みについて
- ・第2回 開催年月日 令和4年1月18日(火) 参加者数 9法人 11施設 12名
- 内容/研修会「災害に備えて私たちにできることは～嘉麻市ならではの地域貢献を考える～」
- 講師 九州防災パートナーズ 藤澤 健児さん

### ③かま福祉ネットワーク委員会役員会の開催

- ・開催年月日 令和3年4月20日(火) 参加者数 8名
- 内容/役員紹介、令和2年度の活動実績について、令和3年度の取り組みについて
- ・開催年月日 令和3年11月12日(金) 参加者 7名
- 内容/Kさん、Nさんの支援について、研修会について
- ・開催年月日 令和4年3月29日(火) 参加者 7名
- 内容/監査、令和4年度の取り組みについて

- ④会費の拠出 かま福祉ネットワーク委員会に加入している13法人から105,000円の会費を拠出してもらい、かま自立相談支援センターで受けた困窮者世帯の家賃やスズメバチの駆除費用を支払ってもらった。

- ⑤かまワン相談員との連携 生活に困窮する家庭の相談を受けたかまワン相談員からの相談が1件あったため、対応した。

### ⑥ふくおかライフレスキュー事業嘉麻市部会の開催

- ・第1回 開催年月日 令和3年9月21日(火) 参加者数 12法人 16施設 19名(会場参加者8名、リモート参加者11名)
- 内容/令和2年度の活動実績について、令和3年度の会費及び取り組みについて
- ・第2回 開催年月日 令和4年1月18日(火) 参加者数 9法人 11施設 12名
- 内容/研修会「災害に備えて私たちにできることは～嘉麻市ならではの地域貢献を考える～」
- 講師 九州防災パートナーズ 藤澤 健児さん

### ⑦ふくおかライフレスキュー事業による支援

- ・生活に困窮した状態で相談につながった4件の生活を立て直すため、延べ31回の現物支給による支援を行なった。食材等の購入費や滞納電気代の支払いに要する費用は本会で一旦立て替えた後、福岡県社協から戻入される仕組みとなっている。現物支給に伴う費用は221,168円となった。

## (10)広報活動の推進

- ①**広報紙「えがお」の発行** 発行回数4回(No166～No169) 発行部数3,000部/1回(フルカラー)  
嘉麻市役所や図書館、医療機関やスーパーなど15か所に置いてもらったほか、行政区長や福祉推進員の協力が得られた18行政区に配布した。
- ②**ホームページのリニューアル** スマートフォンやタブレットからも閲覧ができ、更新作業も負担なくできるよう、ホームページをリニューアルした。
- ③**ブログやSNSを使った情報発信** ブログやFacebookで、本会の活動や地域の情報、災害情報などについて101回発信した。

## (11)地域の交流拠点寄ってこハウスの運営事業

- ①**ハウス敷地内及び駐車場の草刈り** 令和3年5月8日(土)、6月17日(木)、8月19日(木)、10月30日(土)、
  - ②**一時宿泊利用** 令和3年8月17日(火)～令和4年3月15日(火) 延べ211日利用
- 〈出会った時の状況〉家族と折り合いが悪く家を出たのち、他町のアパートで一人暮らしをしていたが、そのアパートを強制退去となったため、学生時代の友人を頼り嘉麻市に戻ってきた。未成年であることから賃貸契約が結ばず、令和4年4月1日の民法改正(成人年齢の引き下げ)を待つ間、寄ってこハウスを利用してもらうこととしていたが、親族からの協力が得られたことで、3月15日に市外に転居となった。

## (12)おしゃべりサロンの開催

- ・第1回 開催年月日/令和3年12月26日(日) 参加者7名 内容/アロマバームやスプレーづくりをしながら、おしゃべりを楽しんだ。
- ・第2回 開催年月日/令和4年1月23日(日) 参加者5名 内容/毛糸でコースターづくりをしながら、おしゃべりを楽しんだ。

## (13)在宅介護者支援事業

- ①**在宅介護者の集い**  
定例会の開催8回 延べ参加者数29名(5月、6月、8月、9月は中止)
- ②**認知症家族の集い**  
定例会の開催7回 延べ参加者数17名(5月、6月、8月、9月は中止)

## (14)空き家管理住まいるサービスの推進

- ①**基本サービスの提供**  
相談件数0件(稲築地区0件 碓井地区0件 山田地区0件 嘉徳地区0件)  
管理家屋8軒(稲築地区5軒 碓井地区2軒 山田地区1軒)  
基本サービス提供回数94回(稲築地区59回 碓井地区23回 山田地区12回)  
有事後の巡回16回(稲築地区10回 碓井地区4回 山田地区2回)  
基本サービス提供時間141時間(稲築地区89時間 碓井地区35時間 山田地区17時間)
- ②**オプションサービスの提供**  
オプションサービス提供回数15回(草刈り8回 草取り7回)  
オプションサービス提供時間45時間30分(草刈り20時間30分 草取り25時間)

## (15)共同募金運動への協力

### ①街頭募金への協力

- ・募金ボランティアの募集  
福岡県共同募金嘉麻市支会が市内スーパー等の店頭で実施した街頭募金は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、職員が募金ボランティアとして協力した。

### ②戸別募金への協力

- ・募金用途についての啓発  
福岡県共同募金会嘉麻市支会と連携して、共同募金の配分の流れや用途をまとめたチラシを作成した。  
(このチラシは嘉麻市支会が各地区行政区長会の協力を得て、全戸に配布した)

### ③職域募金への協力

- ・福岡県共同募金会嘉麻市支会と連携して、職場など(69カ所)へ募金の協力を呼びかけを行った。

### ④法人募金への協力

- ・福岡県共同募金会嘉麻市支会と連携して、企業など(185カ所)へ募金の協力を呼びかけた。

# 地域福祉・在宅福祉推進部門 総合相談・地域づくり推進係

## 【かま権利擁護センター】 事業報告

### 1. 総括

今年度、かま権利擁護センター（以下「センター」という。）で受けた相談は4,305件（前年比336増）でした。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から禁止されていた施設や病院で生活する方々との面会が徐々に緩和されたことで、久しぶりに言葉を交わすと、「やっと会えるようになったね」と喜んでもらえる反面、体力や意欲の低下、認知症の進行を自覚し、気落ちする方もおられました。本会が担う役割は、ただ単に生活費や支払いを代行するだけではなく、福祉サービスの利用援助や身上保護であり、日常の何気ない変化をいち早く察知し、抱えている不安や困りごとを少しでも減らせるよう生活を支えることに改めて感じました。

日常生活自立支援事業（以下「日常事業」という。）については、利用者数は40人（前年比5人増）となりました。新規相談は15件で、そのうち10件が認知症高齢者の方で、家族による金銭搾取が疑われるケースや盗られ妄想の対象が家族となり関係が悪化したケースが目立ちました。2025年には高齢者の5人に1人が認知症と言われており、日常的な金銭管理や福祉サービスの利用支援などをつうじて、利用者が安心して自立した生活が送れるようにする本事業の役割は、ますます高まっていくと思われれます。

また、本会の独自事業である地域福祉権利擁護事業（以下「地権事業」という。）は、判断能力はあるけれども、病気やけが等の理由で医療費や光熱水費等の支払いができないなど、日常生活に支障のある方を支援しているもので、利用者は13人（前年比5人減）となりました。そのうち新規利用者は3件で、全てがかま自立相談支援センターからつながったケースでした。困窮に至った方のほとんどは、多額の債務を抱えて、収支バランスが崩れていました。ライフラインや食費を確保したうえで、優先すべき支払いを確実に行うことで、収支バランスが整っていましたが、一方では利用の煩わしさや窮屈さを感じる方もおられ、解約に至ってしまうこともありました。

成年後見制度の利用支援については、日常事業を利用していた2人の方が申立に至り、そのうち1人と他のNPOから引き継いだ方を受任しましたが、3人の方が亡くなられたことから、本会での受任は8人（法人後見4人、保佐3人、未成年後見1人）となりました。被後見人等が亡くなった場合、相続人調査を行い家族へ引き継ぐこととなりますが、なかには身寄りがない方や、関係性が複雑な方もおられるため、やむを得ず遺骨を保管することとなりました。また、相続人調査を行うなかで、家族関係が複雑なために時間がかかる方もおられることから、受任の際に戸籍謄本の取り寄せ範囲を広げておくことが必要であると学んだほか、後見活動等に当たって整理しなければならないことが見えてきました。そのため、職員一人ひとりが申し立てから事務終了まで、法律に則して被後見人等を支援できるよう、法人後見マニュアルを作成しました。

### 2. 事業実績

(1)相談件数 4,305件（男性1,761件 女性2,544件）

（来所81件、訪問716件、電話3,456件、転送電話52件、メール0件）

#### (2)日常生活自立支援事業の推進

##### ①福祉サービスの利用援助及び日常的な金銭管理サービスの実施

新規契約件数 15件（稲築地区8件 碓井地区2件 山田地区3件 嘉穂地区2件）

利用者数 40人（稲築地区15人 碓井地区12人 山田地区8人 嘉穂地区5人）

支援回数 810回（稲築地区202回 碓井地区319回 山田地区199回 嘉穂地区90回）

支援時間 940時間30分（稲築地区256時間20分 碓井地区369時間30分 山田地区218時間45分 嘉穂地区95時間55分）

##### ②書類等預かりサービスの実施

新規契約件数 3件（稲築地区0件 碓井地区0件 山田地区3件 嘉穂地区0件）

利用者数 8人（稲築地区2人 碓井地区2人 山田地区4人 嘉穂地区0人）

保管物品 9点 普通預金通帳 6冊 定期預金証書 1冊 簡易生命保険証書 1通 厚生年金基金連合会通算年金証書 1通

保管場所 福岡銀行稲築支店貸金庫

#### (3)本会独自の地域福祉権利擁護事業の推進及び権利擁護支援の実施

##### ①金銭管理・生活支援サービスの実施

新規契約件数 3件（稲築地区1件 碓井地区1件 山田地区0件 嘉穂地区1件）

利用者数 13人（稲築地区6人 碓井地区3人 山田地区3人 嘉穂地区1人）

支援回数 363回（稲築地区162回 碓井地区88回 山田地区73回 嘉穂地区40回）

支援時間 429時間10分（稲築地区196時間00分 碓井地区99時間50分 山田地区66時間25分 嘉穂地区66時間55分）

##### ②財産保管サービスの実施

新規契約件数 0件（稲築地区0件 碓井地区0件 山田地区0件 嘉穂地区0件 市外0件）

利用者数 0人（稲築地区0人 碓井地区0人 山田地区0人 嘉穂地区0人 市外0人）

保管物品 0点

##### ③支援員会議の開催 12回 延べ出席者数 86人

#### (4)その他権利擁護支援の実施

##### ①権利擁護支援 運営委員会の開催

開催年月日	出席者数	場 所	協議内容
令和3年4月14日(水)	6人	山田ふれあいハウス 会議室	委員長・副委員長の互選、法人後見定期監査報告について、日常生活自立支援事業及び地域福祉権利擁護事業の利用者状況について 令和3年度かま権利擁護センター事業について
令和3年7月16日(金)	6人	山田ふれあいハウス 会議室	法人後見定期監査報告について、日常生活自立支援事業及び地域福祉権利擁護事業の利用者状況について、被後見人死亡による死後事務の範囲について
令和3年11月2日(火)	7人	山田ふれあいハウス 会議室	法人後見定期監査報告について、日常生活自立支援事業及び地域福祉権利擁護事業の利用者状況について、事例検討(18歳の男性の支援)
令和4年1月28日(金)	7人	山田ふれあいハウス 会議室	法人後見定期監査報告について、日常生活自立支援事業及び地域福祉権利擁護事業の利用者状況について

##### ②地域福祉権利擁護事業 運営委員会の開催

開催年月日	出席者数	場 所	協議内容
令和3年4月14日(水)	4人	山田ふれあいハウス 会議室	委員長・副委員長の互選、新規ケースにおける法人後見の受任について
令和3年7月16日(金)	5人	山田ふれあいハウス 会議室	未成年者との日常生活自立支援事業の契約について、保佐人との日常生活自立支援事業の契約について
令和3年11月2日(火)	6人	山田ふれあいハウス 会議室	新規ケースにおける法人後見の受任について

##### ③適言公正証書作成支援事業の実施 利用件数0件

##### ④生活再建に向けた諸費立替事情の実施 利用件数0件

##### ⑤エンディングノートの推進 利用件数0件

#### (5)法人後見等の実施及び積極的受任

##### ①財産管理、身上監護の実施

受任者数/8人 [成年後見4人 保佐3人 未成年後見1人]

活動回数/199回 [成年後見82回 保佐99回 未成年後見18回]

活動時間/226時間50分 [成年後見96時間30分 保佐110時間5分 未成年後見20時間15分]

##### ②保管物品 17点

キャッシュカード4枚 国民年金・厚生年金保険年金証書2枚 年金手帳1冊

不動産権利証書(登記済み権利書)1枚 実印1本 マイナンバー通知カード4枚 マイナンバーカード1枚

公正証書1通 印鑑登録証兼医療カード1通 振込カード1枚

保管場所 福岡銀行稲築支店貸金庫

##### ③後見等事務報告書の提出 11人の事務報告書を福岡家庭裁判所飯塚支部に提出した。

##### ④報酬付与の申立て 9人の報酬付与の申立てを行った。

##### ⑤定期監査の実施

開催年月日	監査委員	場 所	監査内容
令和3年6月21日(月)	2人	山田ふれあいハウス 会議室	法人後見で受任している成年後見人等10人の通帳残高、出納簿、領収書、保管物品、切手の残枚数、後見等の活動状況について監査を行った。(監査期間 令和3年3月1日～令和3年5月31日)
令和3年9月22日(水)	2人	山田ふれあいハウス 会議室	法人後見で受任している成年後見人等11人の通帳残高、出納簿、領収書、保管物品、切手の残枚数、後見等の活動状況について監査を行った。(監査期間 令和3年6月1日～令和3年8月31日)
令和3年12月17日(金)	2人	山田ふれあいハウス 会議室	法人後見で受任している成年後見人等10人の通帳残高、出納簿、領収書、保管物品、切手の残枚数、後見等の活動状況について監査を行った。(監査期間 令和3年9月1日～令和3年11月30日)
令和4年3月31日(木)	1人	山田ふれあいハウス 会議室	法人後見で受任している成年後見人等10人の通帳残高、出納簿、領収書、保管物品、切手の残枚数、後見等の活動状況について監査を行った。(監査期間 令和3年12月1日～令和4年2月28日)

#### (6)成年後見制度の啓発

##### ①相談及び利用支援

- ・日常生活自立支援事業利用者が成年後見制度に移行する際の申立て支援を行った。
- ・市民の方から電話で、任意後見制度の申立てについて問い合わせがあったため、手続きについて説明した。
- ・介護支援専門員から、成年後見制度の申立てについて相談があったため、手続きについて説明した。

# 地域福祉・在宅福祉推進部門 総合相談・地域づくり推進係

## 【かま自立相談支援センター】 事業報告

### 1. 総括

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大が収束せず、長期化する中で、これまでなんとか預貯金等で凌いできた方々からの困窮相談が増えたと同時に、コロナ禍の影響を理由としない複合的な課題で困窮状態に至っている方々からの相談も混在したことで、相談に携わる相談支援員のアセスメント力や調整力、さらには課題解決に向けた支援方針（見立て）の設定力など、まさにソーシャルワークの展開方法の力量が問われ続けた一年であったと言っても過言ではありません。また、自立相談支援機関を受託（平成27年4月）する際に掲げた「今を支えること…」、「その人に寄り添うこと…」、「支援を諦めないこと…」、「多機関、多職種連携で支援すること…」、「支えるためのあらたな社会資源を創っていくこと…」という、相談者に向き合う際の姿勢の必要性が、これほど問われた一年も無かったように思います。特に、コロナ禍の影響を理由としない相談から見えてきたのは、家族や親族とのつながりを喪失し、最後の拠り所を失った状態で生活している方々の存在で、正直、「こんなにも多いのか…」という感覚を持ちました。中でも、未成年であるにもかかわらず家族との関係が切れ、かつ住まいと仕事を失った状態で相談につながったケースは、緊急時に一時的に生活できる拠点が本市に不足している現状だけではなく、限られた期間の中で仕事を続けてお金を貯め、住まいを見つけて転居に至るまでのハードルの高さに直面することとなりました。拠点の確保については、すぐさま寄ってこハウスのような民家は確保出来ないため、市内にある宿泊施設などの宿泊代を新年度予算に盛り込むなどの対策が必要だと思います。

このような状況の中で、センターで受けた相談は3,608件（前年比410件減）でした。この内146件（前年比13件減）が生活困窮にかかわる新規相談で、年間をとおして1,362回の相談対応とアプローチをしています。新規相談146件の内、23件（15.8%）が絶対的貧困状態（住むところ・食べるものなど生きていくために必要なものが得られない状態）で相談につながり、残り123件（84.2%）が相対的貧困状態（経済的困窮などにより、一般の人が実現できる様々なことができない状態）にありました。そのときの困窮状態の詳細をみると、ほぼすべての方が複数（248件）の困りごとを抱えていて、平均すると1.7件となりました。最も多かったのが「収入・生活費」122件（49.2%）で、「仕事探し」41件（16.5%）、「病気や障がい」21件（8.5%）、「債務」15件（6%）、「住まい」10件（4%）「食べるものがない」9件（3.6%）、「家賃やローンの支払い」9件（3.6%）と続いています。

自立支援プランを協議する支援調整会議は12回開催し、家計改善支援プランも含めて延べ55件について協議し、コアメンバー（保護課、ハローワーク、センター）とプラン内容に応じて加わってもらった機関を含めて、延べ109人が出席しています。自立支援プランの協議においては、問題の複雑さを物語るように、はじめて協議に加わってもらった機関も増えています。

就労支援員による支援については、ハローワークの求人情報のほか、フリーペーパーなどの情報を延べ108回提供し、15人が一般就労、1人が福祉的就労につながりました。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で、有効求人倍率・完全失業率ともに悪化し、雇用情勢は厳しいものでした。そんな状況の中、コロナの感染を理由とした解雇、雇止めにより困窮に至るケースやもともと生活困窮（家計や債務問題）に陥りやすい状況にあって、コロナ禍の収入減などをきっかけに顕在化したケースなど失業や減収による困窮の相談も多くありました。就労支援と同時に家計改善支援事業や関係機関と連携した支援の必要性を強く感じました。

家計改善支援事業については、11件（前年比14件減）の相談がありました。その時の困りごとは延べ25件で、詳細をみると「収入や生活費」10件、「債務の返済」5件、「税金や公共料金の支払い」5件、「家賃やローンの支払い」2件、「その他」3件となりました。継続の方も含めた家計改善支援の延べ回数は386回（前年52件増）となりました。プランを作成した方のうち、今年度も1名が本会の地域福祉権利擁護事業を利用して金銭管理をするようになり、この事業の介在が、本人の生活の立て直しにつながっていると感じています。継続相談では、過払金が確定したことで、困窮から脱却できた世帯もあり、債務返済で悩んでいる方に対する情報提供が重要ということを改めて感じました。支援を継続する中で、本人の意向と相談員が必要と考える支援が異なることが多々あります。支援が本人にとって負担になっていることもあり、改めて、伴走型支援の難しさを感じたほか、自己破産手続きが完了した世帯が1件ありました。また、特例貸付（総合支援資金）の申請期間が繰り返し延長される中で、貸付を希望し、それ以外の支援を提案しても、受け入れをされない相談者が多く、なかなか新規相談につながらないため、家計管理の重要性を理解してもらうための取り組みがかかせないと感じています。

生活福祉資金貸付事業の特例貸付については、延べ件相談件数が1,204件で、その内申し込みに至った実人数は255人、貸付けに至ったのは237人で、総額は107,722,000円となりました。貸付の内訳は、緊急小口資金が151件、26,260,000円、総合支援資金が177件、81,462,000円となりました。さらに詳細をみると、特例貸付を利用した方々の年齢は20歳代から90歳代以上と幅広く、世帯分類は一般世帯が最も多く、職業分類は、無職、建設業、医療・福祉、運送業の順となりました。また、借入を希望した理由は勤務・収入の減少が最も多く、解雇・退職、初任給・雇用保険までのつなぎと続きました。

通常の貸付については、延べ相談件数が506件（前年比133件増）で、内訳は新規相談が70件（前年比3件増）、継続相談が436件（前年比130件増）となりました。貸付に至ったのは21件（前年比1件増）、貸付総額は14,393,000円（前年比8,919,000円増）となりました。貸付けた資金の内訳は、教育支援資金14件、福祉資金6件、緊急小口資金1件となりました。

フードバンク事業については、生活福祉資金特例貸付が始まったことで、絶対的困窮状態に陥る前に相談につながった方が多かったことで、食材を必要とした方が21人（前年比16人減）と減少し、食品及び物品の協力は延べ24件（前年同数）となりました。食品等については、引き続き障がい者支援施設清浄学園、障がい者支援施設さくら学園及び第2さくら学園、軽費老人ホーム稲穂園、特別養護老人ホーム第二稲穂園から在庫状況に応じて提供があったことで、食品が不足することはありませんでした。

無料職業紹介事業については、コロナ禍の影響で就労支援を必要とする方は増えてきましたが、求人登録に至った方はおらず、フリーペーパー等の情報提供に留まりました。常用求人登録は延べ32件（前年比17件減）、求人登録企業は7社となりました。無料職業紹介事業は職業紹介だけでなく、職業開拓ができる場所が強みであるため、就労支援を必要とする人の希望や職業スキル、また、状況等に応じて一般就労だけでなく、福祉的就労等も含めて、社会とつながる機会をつくっていききたいと思っています。

## 2. 事業実績

### (1) 相談受け付け等に関すること

相談件数 3,608 件 (来所 896 件 訪問 326 件 電話 1,656 件 転送電話 1 件 同行 85 件 関係機関から 600 件 メール 44 件)

#### ①初回相談

件数 146 件 (来所 98 件 電話 89 件 関係機関等から 19 件)

#### ②年 齢

人数 146 人 (10 歳～19 歳 2 人 20 歳～29 歳 14 人 30 歳～39 歳 20 人 40 歳～49 歳 24 人 50 歳～59 歳 31 人 60 歳～69 歳 21 人  
70 歳～79 歳 14 人 80 歳～89 歳 8 人 不明 12 人)

#### ③性 別

人数 146 人 (男性 74 人 女性 68 人 不明 4 人)

#### ④相談内容 (複数)

相談内容延べ件数 248 件 (収入や生活費 122 件 仕事探しや就職 41 件 病気や健康・障がい 21 件 債務 15 件 住まい 10 件  
家賃やローン 9 件 食べるものがない 9 件 税金や公共料金 7 件 家族関係・人間関係 4 件 仕事上のトラブル 2 件  
ひきこもり 2 件 子育て・介護 1 件 その他 5 件)

#### ⑤クリーニング結果

スクリーニング件数 146 件

(他の制度や専門機関につなぐ 67 件 引き続き支援を継続する 21 件 情報提供や相談のみで終了 50 件 プランを策定し継続支援する 8 件)

#### ※他の制度や専門機関につないだ内訳 (詳細内訳 複数)

件数 70 件 本会事業 58 件 (内訳: 生活福祉資金特例貸付事業 53 件、フードバンク事業 4 件、地域ささえあい事業 1 件)、  
行政 7 件 (内訳: 保護課 6 件、高齢者介護課 1 件)、他市自立相談支援機関 2 件、ハローワーク 1 件、民生委員 1 件、  
筑豊若者サポートステーション 1 件

#### ⑥自立に向けた働きかけ

継続相談・支援回数 1,362 回 (来所 264 回 訪問 175 回 電話 612 回 転送電話 1 回 同行 46 回 関係機関から 224 回 メール 40 回)

#### ⑦支援プランの策定状況

自立支援プラン策定件数 39 件 (新規プラン 10 件 再プラン 17 件 終了 11 件 中断 1 件)

家計改善支援プラン策定件数 16 件 (新規プラン 4 件 再プラン 6 件 終了 5 件 中断 1 件)

### (2) 支援調整会議に関すること

#### ①支援調整会議の開催

回	開催年月日・時間・場所	出席者	協議内容	出席機関・団体
1	令和3年4月19日(月) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	7人	・自立再プラン案の検討(2件) ・家計再プラン案の検討(2件)	保護課及び福祉事務所長 ハローワーク 障がい者基幹相談支援センター かま自立相談支援センター
2	令和3年5月26日(水) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	13人	・自立再プラン案の検討(3件) ・自立新規プラン案の検討(2件) ・家計再プラン案の検討(1件)	保護課 ハローワーク 地域活動支援センターizumi 障がい者基幹相談支援センター 山田慈恵会ケアハウスやまだきしろ かま自立相談支援センター
3	令和3年6月30日(水) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	7人	・自立再プラン案の検討(3件) ・家計再プラン案の検討(2件)	保護課 もみの木相談支援センター かま自立相談支援センター
4	令和3年7月26日(月) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	6人	・自立再プラン案の検討(2件) ・自立再プラン案の検討(2件)	保護課 ハローワーク かま自立相談支援センター
5	令和3年8月26日(木) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	10人	・自立再プラン案の検討(1件) ・自立新規プラン案の検討(2件)	保護課及び福祉事務所長 ハローワーク 山田慈恵会ケアハウスやまだきしろ アルバイト先の同僚 かま自立相談支援センター
6	令和3年9月24日(金) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	7人	・自立再プラン案の検討(3件) ・自立新規プラン案の検討(1件) ・家計再プラン案の検討(2件)	保護課及び福祉事務所長 もみの木相談支援センター かま自立相談支援センター
7	令和3年10月28日(木) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	12人	・自立再プラン案の検討(1件) ・自立新規プラン案の検討(1件) ・家計新規プラン案の検討(1件)	保護課及び福祉事務所長 ハローワーク 嘉麻市子育て支援課 かま自立相談支援センター
8	令和3年11月26日(金) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	11人	・自立再プラン案の検討(3件) ・自立新規プラン案の検討(1件) ・家計新規プラン案の検討(1件) ・家計再プラン(案)の検討(1件)	保護課及び福祉事務所長 心結相談支援サービス かま自立相談支援センター

9	令和3年12月23日(木) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	8人	・自立再プラン(案)の検討(3件) ・自立新規プラン(案)の検討(1件) ・家計再プラン(案)の検討(1件)	保護課及び福祉事務所長 ハローワーク かま自立相談支援センター
10	令和4年1月27日(木) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	11人	・自立再プラン(案)の検討(2件) ・自立新規プラン(案)の検討(1件) ・家計再プラン(案)の検討(1件)	保護課及び福祉事務所長 ハローワーク 嘉麻市子育て支援課 かま自立相談支援センター
11	令和4年2月25日(金) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	7人	・自立再プラン(案)の検討(2件) ・家計再プラン(案)の検討(1件)	保護課 心結相談支援サービス かま自立相談支援センター
12	令和4年3月28日(月) 午後1時30分～ 山田ふれあいハウス会議室	10人	・自立再プラン(案)の検討(4件) ・自立新規プラン(案)の検討(1件) ・家計新規プラン(案)の検討(1件)	保護課及び福祉事務所長 ハローワーク かま自立相談支援センター

### (3) 就労支援に関すること

#### ① 支援状況

・情報提供 108回 一般就労につながった件数 15件 福祉的就労につながった件数 1件

【一般就労先】 社会福祉法人嘉穂の里第2さくら学園 株式会社有光工務店 大屋菓子店 株式会社アケボノ 九州ふじや食品(株)  
嘉麻市役所地域活性推進課 トヨタ自動車九州株式会社 有限会社協立運送 八幡西病院 マルイ産業 松尾製菓  
(株)あらた たこ焼き屋 九州西部運輸 セブンイレブン

【福祉的就労先】 ベストスマイル就労A

### (4) 家計改善支援事業に関すること

#### ① 初回相談

件数 11件 (来所 6件 訪問 5件)

#### ② 年齢

人数 11人 (30歳～39歳 3人 40歳～49歳 1人 50歳～59歳 3人 70歳～79歳 3人 80歳～89歳 1人)

#### ③ 性別

人数 11人 (男性 5人 女性 6人)

#### ④ 相談内容(複数)

相談内容延べ件数 25件 (収入や生活費 10件 債務 5件 税金や公共料金 5件 家賃やローン 2件 医療費 2件、子どもの学費 1件)

#### ⑤ スクリーニング結果

スクリーニング件数 11件 (引き続き支援を継続する 2件 相談のみで終了 3件 他の制度や専門機関につなぐ 3件 プランを策定し継続支援する 3件)

#### ⑥ 自立に向けた働きかけ

継続相談・支援回数 336回 (来所 28回 訪問 59回 電話 100回 同行 35回 関係機関から 112回 メール 2回)

### (5) 住居確保給付金の窓口業務に関すること

#### ① 相談状況

・相談件数 43件 (新規相談 4件 継続相談 39件)  
・相談の形態 43件 (来所 14件 電話 28件 関係機関から 1件)

#### ② 申請件数・申請件数 1件

### (6) 生活福祉貸付事業に関すること

#### ア. 特例貸付

##### ① 基本事項

・相談件数 1,204件 (新規相談 193件 継続相談 1,011件)  
・貸付実人数 255人 (稲築西 75人 稲築東 49人 山田 61人 碓井 39人 嘉穂 31人)  
(その内、不承認 17人 (緊急小口資金、総合支援資金)、取下げ 1人 (総合支援資金))  
・相談対応 1,204回 (来所 458回 訪問 20回 電話 645回 関係機関から 80回 メール 1回)

##### ・貸付状況

資金種類	延べ件数(内、2回に分けて申込)(件)	貸付総額(円)
緊急小口資金	151(3)	26,260,000
総合支援資金	177	81,462,000
合計	328	107,722,000



・貸付の形態

形態区分	延べ件数 (件)	貸付総額 (円)
緊急小口資金 1 回のみ	69	12,550,000
緊急小口資金 2 回目のみ	10	910,000
緊急小口資金 1 回+緊急小口資金 2 回	1	200,000
緊急小口資金 1 回目+総合支援資金 (初回) のみ	47	30,430,000
緊急小口資金 2 回目のみ+総合支援資金 (初回)	4	2,050,000
緊急小口資金 1 回目+緊急小口資金 2 回目+総合支援資金 (初回)	2	1,150,000
総合支援資金 (初回) のみ	52	24,200,000
総合支援資金 (延長) のみ	12	4,690,000
総合支援資金 (再貸付) のみ	16	6,582,000
緊急小口資金 1 回目+総合支援資金 (初回) +総合支援資金 (再貸付)	9	11,250,000
緊急小口資金 2 回目のみ+総合支援資金 (初回) +総合支援資金 (再貸付)	1	600,000
緊急小口資金 1 回目+総合支援資金 (延長) +総合支援資金 (再貸付)	2	2,200,000
総合支援資金 (初回) +総合支援資金 (再貸付)	6	5,920,000
緊急小口資金 1 回目+総合支援資金 (再貸付)	3	2,400,000
緊急小口資金 2 回目のみ+総合支援資金 (延長)	1	490,000
総合支援資金 (延長) +総合支援資金 (再貸付)	2	2,100,000
合 計	237	107,722,000

※延べ件数は、不承認 17 件、取り下げ 1 件を除いているため 237 件となっている。

②詳細事項

性別		年齢区分									世帯分類				
男	女	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90 歳代	一般世帯	単身世帯	高齢夫婦	母子世帯	父子世帯	
154	101	34	68	74	37	25	14	1	2	125	78	7	39	6	
職業分類															
建設関係	無職	飲食業	製造業	販売業	運送業	事務	医療・福祉	遊行業	理美容関係	自営	調理	保険関係	派遣	その他	
40	48	13	11	8	18	9	18	4	4	17	3	5	7	50	

借入を希望した理由 (困窮状態)	件数
勤務・収入が減少した	141
休業中	13
就職活動中	14
解雇・退職	31
家族の減収	12
初任給・雇用保険までのつなぎ	15
自粛・感染不安	10
コロナ罹患	13
子どもの休園・休校	6
合 計	255

イ. 通常貸付

①基本事項

- ・相談件数 506 件 (新規相談 70 件 継続相談 436 件) ・貸付件数 21 件 貸付総額 14,393,000 円
- ・相談の形態 506 件 (来所 88 件 訪問 67 件 電話 182 件 同行 4 件 関係機関から 164 件 メール 1 件)
- ・貸付資金種類 (詳細内訳)

資金種別	区分	貸付の詳細	貸付件数	貸付合計額
福祉資金	福祉費	被保護者の生活必需品の購入 (エアコン)	5 件	492,000 円
		被保護者の高校修学旅行費	1 件	120,000 円
小 計			6 件	612,000 円
教育支援資金	教育支援費	大学 3 件	3 件	4,458,000 円
	就学支度費	専門学校 2 件	2 件	500,000 円
	教育支援費+就学支度費	専門学校 3 件 大学 1 件 短大 1 件 高校 4 件	9 件	8,723,000 円
小 計			14 件	13,681,000 円
緊急小口資金		初任給が支給されるまでのつなぎ	1 件	100,000 円
小 計			1 件	100,000 円
合 計			21 件	14,393,000 円

②滞納世帯への働きかけ

- ・滞納状態にある借受人及び連帯借受人に対し、センターの存在を知らせて相談につなげるため、5月、8月、11月、2月に償還金の払込票とともにセンターの案内チラシを郵送した。

(7) フードバンク事業に関すること

①食材を必要とした方々の生活状況

提供年月日	受取者	困窮状態等の概要	提供した食品・物品の内訳
令和3年4月2日(金)	女性	コロナ禍で仕事が決まらず、子どもの学校で陽性者が出たことで就職活動できない。総合支援資金特例貸付の借入申込みをしているが、決まるまで時間がかかるため提供した。今後については、本人の仕事を探し、生活を立て直せるようにする。	白米2kg カップ麺12個 ふりかけ3袋 缶詰9缶 のり佃煮1瓶 お茶漬1袋
令和3年4月13日(火)	女性	給料差し押さえ通知書が裁判所から届き、家計改善支援員と予定していた支払いが行えず、食費が十分確保できないため、やむを得ず食材を提供した。	白米10kg カップ麺11個 袋麺2袋 レトルト食品7箱 ふりかけ2袋 缶詰8缶 ごはんバック6個 なめ茸1瓶 鶏そぼろ2個セット お茶漬1袋 とろろ昆布1袋 焼きのり2袋 調味料4点
令和3年4月22日(木)	男性	保護課係長が同行し来所。家族からのDVを受け、分離するため現住所にて1人暮らし。収入が無く所持金も少ない。本日、保護申請受付し、早期に決定する見込みのため、保護が決まるまでの食材を提供した。	カップ麺11個 缶詰6缶 スープ4袋 ごはん3P2セット お茶漬1袋
令和3年4月23日(金)	女性 ①	父の年金が4月15日に振り込まれたが、必要な支払いをおこうと、所持金が20円になった。親類に借入を申し込んだが断られた。食料もなく民生委員に相談し、センターに繋がった。今後は仕事を探し、早期に仕事につけるよう支援予定。	カップ麺8個 レトルト食品8箱 ふりかけ2袋 缶詰8缶 お茶漬1袋 のりの佃煮1瓶 のり1袋 ごはんバック3袋入り8袋
令和3年4月28日(水)	女性	令和2年5月生活保護を申請した後に保護課からの相談で食材を提供した。秋ごろ、夫が転職したため、保護廃止となったが、職場でクラスターが発生し、減給、ボーナスカットとなった。本人は現在妊娠中で、切迫早産のリスクが高く入院したことで費用が嵩み食材もない。特例貸付について情報提供し、夫婦で話し合ってもらおうよう促した。	白米5kg カップ麺4個 レトルト食品6箱 缶詰2缶 味噌汁12個入り5袋 梅がゆ3個 雑炊8個 ごはんバック1個 鮭ビン1瓶 とろろ1袋 のり1袋 おむつ1袋 おしりふき1袋
令和3年5月7日(金)	男性	4月末に生活保護申請をしているが手持ちのお金がなく、食べるものもない状況。保護が決まるまでの食材を提供した。	白米5kg カップ麺10個 レトルト食品6箱 缶詰6個 スープ12袋
令和3年5月10日(月)	女性 ②	4月の父の年金を使い果たしたため、4月23日にフードバンクから食材を提供。その後、センターから紹介した求人に応募しようとしたが、ガソリンがなく応募できなかった。親戚や民生委員にお金を借りるため、連絡したが断られ、食材もつきためセンターに連絡したとのこと。本人の就労支援と父の金銭管理について提案した。	白米5kg カップ麺8個 レトルト食品6箱 缶詰14缶 味噌汁1袋 カレー4袋入り1個 のり佃煮1個
令和3年7月1日(木)	女性	夫と子ども2人の4人世帯。夫が建設業を経営しておりコロナの影響で収入減のため令和2年7月に緊急小口資金を、8～10月に総合支援資金を借り入れた。自身は妊娠8か月で働けず、令和3年6月に延長不承認となったことで、やむを得ず生活保護を申請。保護決定まで食材、子どものおむつがないため提供した。	白米5kg カップ麺8個 袋麺1袋 レトルト食品10箱 ふりかけ2袋 缶詰9巻 味噌汁1袋 パスタソース5袋 のり1袋 スープ1袋 雑炊3袋 紙パンツ2袋 おしりふき1袋
令和3年8月2日(月)	男性	令和2年9月にコロナの影響で解雇となった。以降は失業保険を受給しながら就職活動をしていたが見つからず、6月末で受給終了。本日生活保護を申請し、保護決定までの食材を提供した。	白米5kg カップ麺4個 レトルト食品4箱 ふりかけ1袋 缶詰4缶 味噌汁7袋 袋麺2袋 めんつゆ1本 味噌ポン2本 炊飯器(貸出)
令和3年8月17日(火)	男性	令和3年6月に他町の賃貸住宅を強制退去となり、住まいがない。当面は寄ってこハウスを利用し、その間に住まいを探す予定。アルバイトは決まっているが、給料日までお金がないため、食材を提供した。	白米5kg カップ麺6個 レトルト食品6箱 ふりかけ1袋 味噌汁10袋 スープ5個 お茶漬1個 焼き海苔1袋 ゼリー4個 トイレトペーパー1袋 タオル6枚 ベルト1本 短パン3枚 Tシャツ1枚 長ズボン1枚 ジャージ上下1組 ウィンドブレーカー上下1組
令和3年9月10日(金)	女性 ③	1日1食しか食べておらず、親類からもお金を貸してもらえない状況。本日、父親が施設に入所したため、9月13日に生活保護を申請予定としている。	白米1.5kg カップ麺4個 ふりかけ1袋 スープ4個 雑炊2袋 ゼリー2個 プリン1個
令和3年9月28日(火)	女性	20年以上働いておらず、母親から生活費を支援してもらいながら生活していたが、脳梗塞を発症し、入院したため援助が途切れた。9月17日に生活保護を申請し、保護決定までの食材を提供した。	白米3.5kg カップ麺5個 レトルト食品4箱 ふりかけ1袋 缶詰3缶 味噌汁2袋 スープ2個 雑炊1個 お茶漬1袋 おかゆ2袋 プリン2個 ゼリー2個
令和3年10月5日(火)	男性 ①	9月1日に引っ越したが、9・10月家賃・ガス・電気・ケーブルテレビを滞納している。仕事は、近所の人から頼まれる家の掃	白米5kg レトルト食品4箱 缶詰8缶 味噌汁2袋 スープ1箱 めんつゆ1本

		除や草刈りなど。ほとんど収入がなく、食べものもない。健康保険料も支払っておらず、保険証もない。他市に家族が住んでいるが、生活保護を受給しており、頼ることができないため、食材を提供した。今後については、相談者宅を訪問し、生活費等について話し合う予定。	そうめん1箱
令和3年10月12日(火)	女性 ①	1年前から働いておらず、貯金を切り崩しながら生活していたが、底をつき困窮している。ハローワークに登録し、何度か面接を受けるが決まらないため、明日生活保護を申請希望。保護決定までの食材を提供した。	カップ麺3個 レトルト食品15箱 ふりかけ1袋 缶詰6缶 味噌汁1袋 そうめん1袋 めんつゆ1本 スープ7個 ゼリー4個
令和3年10月22日(金)	男性 ①	9月17日に懲戒解雇。給料を差し押さえられ、手元に63,000円残った。光熱水費を支払ったことで、残金がない。15日に親類に3万円を借り、食材を購入したが、食材が尽きた。今後、ハローワークに同行、債務整理と金銭管理を入れて支援予定。	白米5kg カップ麺3個 レトルト食品10箱 ふりかけ1袋 缶詰7缶 スープ3個
令和3年10月25日(月)	女性 ②	先日フードバンクから食材を提供したが、食料が尽きた。保護課に進捗状況を確認し、3日分の食料を提供した。	カップ麺3個 レトルト食品12箱 ふりかけ1袋 そうめん1袋 おかゆ1袋
令和3年10月29日(金)	女性	長時間の立ち仕事で足に水が溜まり、9月末で退職。現在、ハローワークで求職活動中だが支払いが追いつかず、生活保護を申請。保護決定までの食材を提供した。	白米1kg レトルト食品5箱 缶詰3缶
令和3年10月29日(金)	男性 ②	11月1日に面接予定。先週もらった食材は無くなり困っている。来週以降、ふくおかライフレスキュー事業を利用し、食材の提供をおこなう予定。	カップ麺3個 レトルト食品9箱 ふりかけ1袋 缶詰6缶 スープ2個
令和3年11月17日(水)	男性	以前センターに相談があり、食材を提供したことがある。その後、定期的に訪問し、状況を確認していた。その間、なんとか年金で生活出来ていたが、10月に骨折し、医療費がかさみ所持金がないとのことだった。今後は、WinWin事業やささえあい事業につないでいきたいと考えている。	白米5kg カップ麺9個 レトルト食品5箱 ふりかけ1袋 缶詰4缶 味噌汁1袋 なめ茸1瓶 お茶漬け1袋
令和3年11月29日(火)	男性 ①	2週間ほとんど食べていないと連絡あり。母親(入院中)の年金約10万円(1ヶ月)のみで生活している。収入の中でやりくりしていたが、12月に払う予定の土地代が11月に早まったことで食費の捻出が困難となった。今後は、就労支援をおこなっていく予定。	白米5kg カップ麺2個 レトルト食品13箱 ふりかけ1袋 缶詰9缶 スープ1袋
令和3年12月3日(金)	男性 ②	先日フードバンクから食材を提供し、急場をしのいだが、白米が少なくなってきたとのこと。年金支給日まで生活できないため提供した。	白米5kg
令和3年12月7日(火)	女性	12月1日に生活保護を申請したが、決定までの食材が不足するとの連絡があり、1週間分の食材を提供した。	白米5kg カップ麺10個 レトルト食品9箱 味噌汁1袋 そうめん1袋 めんつゆ1本 胡椒1本
令和4年1月28日(金)	男性	令和3年10月に刑務所を出所した。作業報奨金は使ってしまった、妻も給料が少なく、生活がままならない状況だが、2月15日には年金が入るため、2週間分の食材を提供した。	白米5kg カップ麺14個 袋麺1袋 レトルト食品9箱 缶詰5缶 味噌汁1袋 スープ2箱 おこわ5袋 赤飯5袋 めんつゆ1本 のり1缶 ちりめん1瓶 ゼリー2個 ジュース9本
令和4年2月3日(木)	男性	アルバイトで生計をたてていたが、10月頃から体調が悪化し、収入が途絶えた。受診を繰り返すも原因がわからず、精神的な病気も疑われるが、国保税を滞納しており、病院受診ができない。2月3日、生活保護を申請したため、決まるまでの間の食材を提供した。	白米5kg カップ麺4個 レトルト食品10箱 ふりかけ1袋 缶詰7缶 味噌汁1袋 おこわ4袋 赤飯2袋 スープ3箱 ガスボンベ3本
令和4年2月7日(月)	男性	母親(日常生活自立支援事業利用者)と2人暮らし。失業し再就職を目指していたが、決まらず、米も残り3合しかない。今月中には、知人の紹介で仕事が決まりそうとのことだった。決まれば、ケアマネに報告し、母親のサービスを調整してもらうことになっている。	白米5kg カップ麺2個 レトルト食品15箱 ふりかけ1袋 缶詰2缶 味噌汁1袋 おこわ11袋 赤飯3袋 スープ3箱
令和4年2月10日(木)	男性 ②	2月15日までに家賃2ヶ月分を支払うよう通知が届いた。手持ちのお金もなく、3日間食べていない。2月8日に退職し、15日の給料は差し引かれて3千円程度。14日に同行し、生活保護を申請予定。	バックご飯11個 おこわ2袋 赤飯2袋 カップ麺5個 レトルト食品6箱 缶詰4缶 のりの佃煮1瓶
令和4年3月31日(木)	男性	統合失調症の診断を受け、障害年金を受給していたが、病気を受け入れきれず、年金が10月までとなった。その後は、品物売り、何とか働いたが、困窮し相談に至った。本人は働きたいとの希望をもっており、ハローワークに同行する予定とした。	米5kg カップ麺7個 缶詰11缶 味噌汁・スープ類40袋 ポタージュスープ2箱 かに玉1袋 ふりかけ3袋 ごはんバック1バック レトルト食品9箱 レトルト(3食入)4袋

②事業への協力状況

- ・食品及び物品の協力件数 24 件

【障がい者支援施設清浄学園 2 件 軽費老人ホーム稲穂園・特別養護老人ホーム第二稲穂園 2 件 障がい者支援施設さくら学園・障がい者支援施設第 2 さくら学園 1 件 障がい者基幹相談支援センター 1 件 嘉麻市保護課 2 件 嘉麻市男女共同参画推進課 1 件 かま男女共同参画推進ネットワーク 2 件 大塚内科クリニック 3 件 株式会社ダイナム 1 件 古河機械金属 (株) 1 件 市民 8 件】

- ・協力いただいた食品及び物品の内訳

【食品】米 230 kg ご飯パック 112 個 おかゆ 3 袋 カップ麺 164 個 即席汁物 311 袋 レトルト食品 259 食 ふりかけ・のり 191 袋 お茶漬け 19 袋 缶詰 38 缶 佃煮・鮭など 10 個 調味料 4 点 めんつゆ 5 本 そうめん・そば 4 箱・5 袋 お茶 1 袋 飲料 9 個 プリン・ゼリー 19 個  
 【物品】ガスボンベ 24 本 コーヒーメーカー 1 台 ワインセラー 1 台 食器乾燥機 1 台 かけ時計 1 台 ベルト 1 本 衣類 12 着 バック 1 個 タオル 5 枚 ティッシュペーパー 6 箱 ウェットティッシュ 27 個 クッキングペーパー 32 個 スポンジ 54 個 シャンプー・石鹸 21 個 洗剤 5 個 紙おむつ 10 袋 生理用品 17 袋

③食品及び物品の提供状況

- ・食品を必要とした方 21 人 ・食品を提供した延べ回数 27 回
- ・物品を必要とした方 5 人 ・物品を提供した延べ回数 5 回
- ・貸出しを必要とした方 1 人 ・物品を貸出した延べ回数 1 回
- ・提供した食品・物品及び貸出した物品の内訳

【提供食品】米 98 kg ご飯パック・おこわ 82 個 おかゆ・雑炊 20 袋 袋麺 2 袋 そうめん 4 袋 カップ麺 156 個 即席汁物 138 袋 レトルト食品 204 食 缶詰 146 缶 のり 7 袋 とろろ昆布 2 袋 ふりかけ 24 袋 めんつゆ 3 本 鮭瓶・佃煮 7 個 お茶漬け 5 個 調味料 5 点 飲料水 9 点 プリン・ゼリー 15 個  
 【提供物品】幼児用紙パンツ 3 袋 お尻ふき 2 パック トイレトペーパー 1 袋 タオル 6 枚 カセットボンベ 5 本 ベルト 1 本 衣類 9 着 タオル 6 枚  
 【貸出物品】炊飯器 1 台

④食品及び物品在庫一覧 (令和 4 年 3 月 31 日現在)

【食品】米 180kg 赤飯 26 袋 カップめん 55 個 そうめん 9 袋・3 箱 そば 2 箱 パスタ麺 4 袋 パスタソース 12 袋 レトルトカレー 9 箱・16 袋 レトルトカレー 4 食入 2 袋 お子様カレー 10 箱 ハヤシビーフ 4 箱 ミネストローネ 2 箱 ボルシチ 2 箱 中華丼 5 箱 中華丼 3 食入 2 袋 牛丼 2 箱 牛丼 3 食入 7 袋 すき焼丼 1 箱 親子丼 18 箱 親子丼 3 食入 10 袋 みそ汁 128 袋 スープ各種 47 袋 めんつゆ 2 本 缶詰 129 缶 鮭フレーク 10 個 焼のり 1 缶 味付海苔 4 袋 お茶漬け 9 袋 お茶 1 箱 ふりかけ 138 袋 砂糖 1 袋 タバスコ 2 箱 一味唐辛子 3 個 焼き塩レモン 1 瓶 食用油 3 本 スティックシュガー 2 袋  
 【物品】石鹸 27 個 スポンジ 56 個 クッキングペーパー 32 個 タオル 5 枚 お風呂洗剤 4 本 食器用洗剤 3 本 洗濯洗剤 2 本 消臭スプレー 1 本 ハンドソープ 1 本 ボディソープ (詰め替え用) 1 袋 ボディシャンプー 2 本 カセットボンベ 3 個セット 10 個 暖房器具 2 台 ポット 1 個 コーヒーメーカー 1 台 ワインセラー 1 台 食器乾燥機 1 台 フットブラシ 1 個 食器 48 個 急須 1 個 コップ 6 個 すり鉢 1 個 ボウル 3 個 タップ 8 個 栓抜き 1 個 包丁 1 本 子ども用紙おむつビックサイズ 2 袋 子ども用紙おむつLサイズ 7 袋 子ども用紙おむつSサイズ 4 袋 生理用品 15 袋 おしりふき 25 袋 箱ティッシュ 23 箱 トイレトペーパー 9 袋 ウェットティッシュ 27 個 やかん 1 個 スーツ上下セット 8 セット カッターシャツ 3 枚 衣類 3 着 掛け布団 1 枚 シーツ 1 枚 履歴書 (パート・アルバイト) 5 袋 履歴書 (新卒・再就職) 4 袋

(8) 無料職業紹介所 (嘉麻市生活困窮者自立相談支援事業受託) に関すること

①求人登録状況

- ・常用求人登録件数 32 件
- ・求人登録企業 7 件及び業種区分

【企業名及び業種】

- ・社会福祉法人恵寿会グループホーム恵寿 (介護サービスの職業)・障がい者支援施設さくら学園 (飲食物調理の職業)
- ・麻生介護サービス (株) (介護サービスの職業・看護師・サービス責任者)・ほっともつと山田店 (飲食物調理の職業)
- ・医療法人新緑会愛恵医院 (介護サービスの職業・飲食物調理の職業)・特別養護老人ホーム第二稲穂園 (飲食物調理の職業)
- ・社会福祉法人嘉麻市社会福祉協議会 (配食サービス配達員の職業)

②求職登録状況

- ・求職登録者 0 人

(9) 研修会等への参加

参加年月日	内容	会場	出席者
令和 3 年 11 月 11 日 (木) ~ 11 月 26 日 (金)	令和 3 年度生活困窮者自立支援制度	動画視聴	大里 真弓
令和 3 年 11 月 30 日 (火)	就労支援員・就労準備支援事業従事者養成研修	リモート	

# 地域福祉・在宅福祉推進部門 総合相談・地域づくり推進係

## 【かまひきこもり相談支援センター】 事業報告

### 1. 総括

ひきこもり支援は、本人だけでなく、その家族も「周囲の人に知られたくない」という感情を持っていることが多く、SOSを出せずに相談機関につながるまでに時間がかかるという現状があります。ようやく相談機関につながったとしても本人と会えない、家族からも「やっぱりいいです」と介入を拒まれる場合もあり、当事者との関係を構築することが非常に難しいという現実があります。

それを物語るように、今年度かまひきこもり相談支援センター（以下、「センター」という）で対応した相談件数は113件（前年度比402件減）でした。そのうち、3名は新規相談で年代は10～50歳代と幅が広く、ひきこもり期間も1年未満の方もいれば、10年以上の方もいました。また、家族と関わることができたのは、1件のみでした。ご家族とは、毎週木曜日に開催する家族会でお会いし、いろいろな話をすることができましたが、ご本人とのやりとりはメールのみで、会うことはできませんでした。

家族会でご両親は、「自宅では息子に気がつかないながら生活していて息がつまる」や「本当は外に出てフリースペースなどに行けるようになればいいのに」と話す反面、「息子には自由に過ごしてほしい」、「あつととき、ああしてあげればと何度も後悔した」などと話され、日々葛藤されている気持ちを吐露されました。家族会へは、嘉麻市役所健康課の保健師に5回参加してもらい、専門的立場からの助言をお願いしました。また、家族会への参加は1家族のみで同じ悩みを持つ家族同士の交流を図ることはできませんでしたが、不安な気持ちを話せる場所があること、家族会に来ることで孤立せず社会とのつながりを維持することができるなど、家族会には大きな意義があると思っています。フリースペースについては、今年度本人とつながることができず、開設には至りませんでした。本人が家から一歩外に出て、自由に過ごせる居場所としての役割は今後も変わることはないと思っています。

さらに今年度は、嘉麻市の健康課、社会福祉課、高齢者介護課、市民課、子育て支援課にひきこもりに関する聞き取り調査を実施しました。ひきこもりの当事者とセンターがつながるには、本人からの連絡、家族や周囲の方を通して相談を受けるケースが主ですが、聞き取り調査を行うなかでそれぞれの課がひきこもりに関する情報を持っていることが分かりました。例えば、「介護の相談を受け、自宅に訪問すると、ずっと働いていない息子がいた」というようなケースです。ほかにも、金銭搾取を含む虐待や国民健康保険税の未納・滞納等による困りごとから、ひきこもりの子どもを抱える世帯と出会うケースもあるとのことでした。ひきこもり状態が長期化し、複合的な問題を抱えるケースへと発展した場合、本人と会うことがなかなかできないうえに、ひきこもりに対する相談対応の仕方が定まらず、支援することの難しさを行政職員も同じように感じていることが分かりましたので、来年度において相談内容の共有や介入、研修会の開催などができるよう取り組んでいきたいと思っております。

また、家族会でご夫婦が「息子がセンターからメールが届くと、自分がどこかとつながっているという安心感がある」と話しておられたことから、本人とつながるのは必ずしも会って話すだけではないということに気づきました。自分は1人じゃない、社会とつながっているという気持ちを持ってもらうことの大切さを感じています。そのため、来年度から電話やメール等での相談受付に加え、LINEの公式アカウントを使ったSNS相談窓口を開設します。SNSの持つ「いつでもどこでも繋がることのできる」という強みを活かし、当事者とのつながりをつくっていきたくと考えています。

### ■ 具体的事業活動

#### (1) 相談事業

ひきこもりに関する相談対応 相談者数：4名 / 相談対応件数：113件

<相談対応の詳細事項>

新規/継続	本人の年齢	相談対応
新規	10歳代	本人への支援：訪問1件、メール2件、同行1件 / 家族への支援：来所1件、メール78件
新規	20歳代	本人への支援：関係機関との連絡調整1件
新規	50歳代	本人への支援：電話2件、関係機関との連絡調整1件
継続	30歳代	本人への支援：メール9件、関係機関との連絡調整4件 / 家族への支援：電話13件

#### (2) 本人及び家族への支援事業

① フリースペースの開設：0回

② 家族会定例会の開催：39回

開催月	開催日	会場	参加者	内容
令和3年4月	1日(木)、8日(木)、 15日(木)、22日(木)	寄ってこハウス	1家族(ご夫婦)、 保健師(嘉麻市役所健康課、15日のみ)	近況報告など
令和3年5月	6日(木)、13日(木)、 20日(木)、27日(木)	寄ってこハウス	1家族(ご夫婦)	近況報告など
令和3年6月	10日(木)、17日(木)、 22日(木)	寄ってこハウス	1家族(ご夫婦)、 保健師(嘉麻市役所健康課、10日のみ)	近況報告など
令和3年7月	1日(木)、15日(木)、 29日(木)	寄ってこハウス	1家族(ご夫婦)	近況報告など
令和3年8月	5日(木)、19日(木)、 26日(木)	寄ってこハウス/ 山田ふれあいハウス	1家族(ご夫婦)	近況報告など

令和3年9月	2日(木)、9日(木)、 16日(木)、30日(木)	山田ふれあいハウス	1家族(ご夫婦) 保健師(嘉麻市役所健康課、9日のみ)	近況報告など
令和3年10月	7日(木)、13日(木)、 21日(木)、28日(木)	山田ふれあいハウス	1家族(ご夫婦)、 保健師(嘉麻市役所健康課、7日のみ)	近況報告など
令和3年11月	4日(木)、11日(木)、 18日(木)	山田ふれあいハウス	1家族(ご夫婦)	近況報告など
令和3年12月	9日(木)、16日(木)、 23日(木)	山田ふれあいハウス	1家族(ご夫婦)	近況報告など
令和4年1月	20日(木)、27日(木)	山田ふれあいハウス	1家族(ご夫婦)	近況報告など
令和4年2月	3日(木)、10日(木)、 17日(木)、24日(木)	山田ふれあいハウス	1家族(ご夫婦)	近況報告など
令和4年3月	3日(木)、10日(木)	山田ふれあいハウス	1家族(ご夫婦) 保健師(嘉麻市役所健康課、10日のみ)	近況報告など

### (3) 研修会への参加

日時	会場	内容	参加者
令和3年6月24日(木)	福岡県精神保健福祉センター	令和3年度ひきこもり支援関係者研修会 (1) 福岡県のひきこもり対策について (2) 講話「ひきこもりの家族支援について」	職員1名

# 地域福祉・在宅福祉推進部門 総合相談・地域づくり推進係 【かまボランティア・市民活動センター】 事業報告

## 1. 総括

かまボランティア・市民活動センター（以下「センター」という。）は、ボランティア・市民活動に関する相談受付、情報提供、連絡調整のほか、ボランティア・市民活動の活性化に向けた環境整備、市民への学習機会の提供、さらには、災害ボランティアセンター機能の整備充実などに努めています。

令和3年度にセンターで受けた相談は52件（前年比4件増）でした。ボランティア・市民活動に関する相談の中には、本市在住の救命救急士からの「救急車の利用方法を地域住民に伝えられるような機会があればボランティアで説明したい」といった内容のものがありましたので、今後サロン等からの要望があればつなげていきたいと思っております。また、これまではセンターに登録しているグループ、個人ボランティアに対する状況把握や登録更新の手続きが十分ではなく、今後のコーディネートにも支障がでてくるため、電話での聞き取りを行い、7グループ及び27名の継続登録の意思確認ができました。

市民への学習機会の提供については、高齢者等の日常生活における困りごとの解決につなげていくことを目的に、今年度はじめて小修繕ボランティア養成講座を開講（3日間）し、4名の方が電気工具の使い方や網戸の修繕方法等を学びました。今後は、参加者の修繕技術をさらに高めながら、つながりも深めていきたいと考えています。かまボランティア・市民活動センター運営委員会は3回開催し、養成講座の企画内容や、災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの見直しについて協議しました。

さらには、災害ボランティアセンター機能の整備充実を図るため、今年度はじめて災害ボランティア養成講座を開講（3日間）し、11名の方が災害ボランティアの役割についての講義を受けたほか、災害時に役立つロープワーク、畳上げや養生シートの張り方などについて学びました。幸い本市では、今年度大きな災害はありませんでしたが、筑後地域では梅雨末期の大雨による災害も発生していますので、本市においても来る災害に備えることが大切だと思っています。その一環として、嘉飯桂地区社会福祉協議会における災害時相互支援協定を締結したほか、平成25年に嘉麻市と災害ボランティアセンター設置等に関する協定を見直しました。また、センターに備蓄している資材について確認し、不足分を補充したほか、職員2名が災害ボランティアセンターの運営に関する研修会に参加し、知識を深めました。

## 2. 具体的事業活動

### (1) ボランティア・市民活動センターの運営

#### ① 相談実績

相談件数 52件 <分類> ・ボランティア・市民活動に関する相談 1件 ・ボランティア保険に関する問い合わせ等 51件

#### ② ボランティアグループの登録継続確認

センターに登録しているボランティアグループの代表者に継続登録を確かめるかどうかの確認を電話で行い、7グループから意思確認がとれ、登録団体の情報を本会ホームページに掲載した。

#### ③ 個人ボランティアの登録継続確認

センターに登録している個人ボランティア及び過去に災害ボランティアの活動経験のある方に継続登録を確かめるかどうかの確認を電話で行い、27名から登録継続の意思確認がとれた。

#### ④ 広報紙「えがお」によるボランティア・市民活動情報の発信

広報紙「えがお」（第166号～第169号）の中に、かまボランティア・市民活動センター情報のページを設けて、ボランティア・市民活動に関する情報を発信した。また、広報紙については、市役所各庁舎や公共施設などに置いたほか、希望する行政区や福祉団体などに配布した。

#### ⑤ SNSを活用した情報発信

	募集情報 (回)	災害関連 (回)	その他 (回)	合計
ブログ	1	7	5	13
Facebook	1	7	5	13
合計	2	14	10	26

#### ⑥ 小修繕ボランティア養成講座の開講

回	開催年月日	参加者	内容
1	令和3年10月12日(火)	3名	「プランターを作ってみよう」 講師：平嶋工務店 代表 平嶋 智文さん
2	令和3年10月19日(火)	4名	「工具の使い方・手入れの仕方」 講師：平嶋工務店 代表 平嶋 智文さん
3	令和3年10月26日(火)	4名	「網戸の修繕」 講師：梅野硝子店 代表 山本 正利さん

#### ⑦ ボランティア活動保険の周知及び事務手続き

##### ・ボランティア活動保険の加入実績

地区名	加入件数 (件)	加入人数 (人)	内訳	
			男性(人)	女性(人)
稲築地区	5	43	17	26
碓井地区	1	19	11	8
山田地区	3	78	21	57
嘉穂地区	4	43	15	28
合計	23	183	68	180

・ボランティア行事務用保険の加入実績

地区名	加入件数 (件)	加入内訳	
		サロンでの加入 (件)	その他の行事 での加入 (件)
稲築地区	7	7	0
碓井地区	3	3	0
山田地区	8	6	2
嘉穂地区	10	6	4
市外	0	0	0
合計	28	22	6

⑧ボランティア運営委員会の開催

回	開催年月日	参加者	協議内容
28	令和3年6月2日(水)	5名	①新役員の紹介 ②災害ボランティア養成講座の実施について ③小修繕ボランティア養成講座の実施について
29	令和3年10月5日(火)	5名	①小修繕ボランティア養成講座の実施について ②嘉麻ボランティア・市民活動センターの現状と課題について
30	令和4年1月14日(金)	7名	①嘉麻市災害ボランティアセンター設置運営マニュアルについて ②嘉麻ボランティア・市民活動センターの来年度の計画について

(7) 災害ボランティアセンター事業

①災害ボランティア養成講座の開講

回	開催年月日	参加者	内容
1	令和3年6月13日(日)	10名	「災害ボランティアの役割や心構えについて」 講師：一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児さん
2	令和3年6月20日(日)	11名	「住宅の基礎構造について、災害時に役立つロープワークについて」 講師：NPO法人 KID's work 代表理事 大久保 大助さん
3	令和3年6月27日(日)	9名	「畳上げや養生シートの張り方について」 講師：一般社団法人 萤火 岩佐 憲一郎さん

②嘉飯桂地区社会福祉協議会災害時相互支援協定の締結

嘉飯桂地区の社会福祉協議会が、管内(嘉麻市、飯塚市、桂川町)で災害が発生した場合に相互の情報共有と支援が円滑にできるよう令和3年6月1日に締結した。

③嘉麻市災害ボランティアセンターの設置等に関する協定の見直し

平成25年に行政と締結した嘉麻市災害ボランティアセンター設置に関する協定を、実態に即して見直し、令和3年6月22日に再締結した。

④備蓄資材の確認及び補充

災害ボランティア活動で使用する備蓄資材を確認し、不足分を補充した。

◆補充した資材

資材名	補充数	備考	資材名	補充数	備考	資材名	補充数	備考
どのう袋	400枚	50枚入り×8袋	十能	2本	小型のもの	消毒用足踏みスタンド	4台	-

⑤研修会への参加

年月日	会場	内容	参加者
令和3年11月22日(月)	嘉麻市社会福祉協議会 2階 会議室 (Zoomにてリモート研修)	「被災地に寄り添う災害ボランティアセンター運営」研修会 「基調講演」 被災地に寄り添う災害ボランティアセンター運営について ～災害時の支援とは何か？誰のために、何のために、何を目標して支援するのか？～ 講師：日野ボランティア・ネットワーク 代表 山下 和彦氏  「パネルディスカッション」 テーマ：災害ボランティアセンター運営と連携について 講師：社会福祉法人中央共同募金会 常務理事 阿部 陽一郎氏 特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 事務局長 明城 徹也氏 日野ボランティア・ネットワーク 代表 山下 和彦氏 全社協 全国ボランティア・市民活動振興センター 副部長 小川 耕平氏	職員2名